

t h e 4 0 + 1 t h A n n i v e r s a r y

心
を
求
め
て

京都パレスワイズメンズクラブ
プラスワン
40+1周年記念誌

心
を
求
め
て

40
+1
周
年
記
念
誌

京
都
パ
レ
ス
ワ
イ
ズ
メ
ン
ズ
ク
ラ
ブ

京都パレスワイズメンズクラブ
40+1
周
年
記
念
誌

京都パレスワイズメンズクラブ
プラスワン
40+1周年記念誌

心を求めて

WHAT A WONDERFUL Y's

木々は緑色に、赤いバラも

わたしやあなたのために花を咲かせ

空は青く、雲は白く、

輝かしい祝福の日には、神聖な夜と

そして、わたしの心に沁みてゆく。

空にはとてもきれいな虹がかかり

また人々は通り過ぎながら、言葉を交わし

友達が握手したりしているのを見かけます。

彼らは心から「愛している」と言い

赤ん坊が泣くのを聞いたり、成長してゆくを見ます。

彼らはわたしよりも遥かに多くのことを学び、知ってゆくでしょう。

そして、わたしは心の中で思っています。

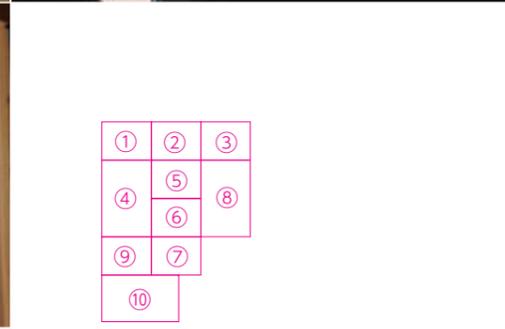
何と素晴らしい世界

この素晴らしき世界

ワイズの仲間がいるから

C O N T E N T S

創立40+1周年記念例会	04
ごあいさつ	12
京都パレスクラブ41期会長 40+1周年記念例会PT実行委員長	森田美都子 為国 光俊
祝辞	14
京都YMCA総主事 直前国際会長 西日本区理事 京都部部长 東京グリーンクラブ会長 熱海クラブ会長 EAGLEHAWK 台中エバーグリーンクラブ マニラダウンタウンクラブ 香港九龍クラブ	神崎 清一 藤井 寛敏 浅岡 徹夫 前 登 柿沼 敬喜 池田 直文 Li, Chun-Jhang Arthur G.Sy Philip Ko
元パレからのエール	19
京都ウエストクラブ 京都キャピタルクラブ	森田 恵三 岡本 尚男
なぜ100名なのか?	21
京都パレスクラブ40期会長	山本 一博
パレスクラブ活動の記録	22
西日本区活動の記録	44
パレスものがたり	50
語り部 パレス太郎・パレス次郎	
メンバープロフィール	64
物故者メンバーを偲んで	76
編集後記	



プラスワン 創立40+1周年記念例会

日時：2012年4月22日(日) 会場：京都ホテルオークラ 出席者数：370名

1年の年月を経て、ここに「元気な日本をワイズから」とプラスワンの熱い思いを加え、40+1周年記念例会が実現しました。

すべては、皆様のご支援とご協力の賜と言葉では言い尽くせぬ感動を今、メンバー一同全身で感じています。

この記念例会がこれからのワイズ活動を広く深く力強く、もっともとの一歩を踏み出す「+1」のスタートとして、実りあるワイズメンの交流の礎となることを願い祈ります。



- ①パレスクラブ98名のメン・メネット、晴やかに着物が華をそえる
- ②・③・④記念例会前日は、IBCクラブと京都観光
- ⑤記念例会前日のIBC・DBCクラブとの交流懇親会(南禅寺順正)

- ①・②・③登録受付、着物姿はメネットのみなさん
- ④パレス初の女性会長、森田ワイズの開会挨拶
- ⑤来賓祝辞 京都YMCA総理事 神崎清一様
- ⑥来賓祝辞 直前国際会長 藤井寛敏ワイズ(東京江東)
- ⑦来賓祝辞 西日本区理事 浅岡徹夫ワイズ(近江八幡)
- ⑧「なぜ100名なのか」パレス宣言をする40期会長山本一博ワイズ
- ⑨マニラダウタウンARTHUR GO SY会長・東京グリーン柿沼敬喜会長・パレス森田会長とのIBCトライアングル締結の報告
- ⑩記念例会での入会式。入会者は新納麻衣子さん(公認会計士)、スポンサーは小林ワイズ





①	②
③	④
⑤	
⑥	⑦

- ①声高らかに乾杯! 岡本尚男ワイズ (京都キャピタル)、森田恵三ワイズ (京都ウエスト) をはじめとする元パレスのみなさん
- ②IBCクラブ 台中エバーグリーンクラブの皆さんと
- ③IBCクラブ マニラダウンタウンクラブの皆さんと
- ④トライアングル締結クラブ (マニラ・東京グリーン) の皆さんと
- ⑤IBCクラブ 香港九龍クラブの皆さんと
- ⑥懇親会BGMIは、ビッグバンドの生演奏で
- ⑦会場内全景



①	③
	④
②	⑤
⑥	
⑦	

- ①香港九龍クラブとのIBC締結式
- ②認証状を手に 左から 森田会長・国際IBC事業主任 田中博之ワイズ (立会人)・香港九龍Philip Koワイズ
- ③例会ナビゲーター 大野ワイズ
- ④懇親会ナビゲーター 川上ワイズ・塚本ワイズ
- ⑤パレスクラブメンバー紹介 72名が壇上に
- ⑥食前感謝 次期西日本区理事 成瀬晃三ワイズ (名古屋)
- ⑦懇親会オープニング 吉岡ワイズによる音と光の演出!





「勝利をのぞみ」(賛美歌164番)

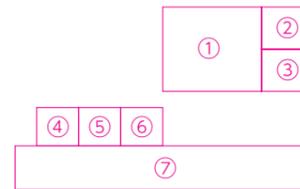
- | | |
|---|--|
| <p>1. 勝利をのぞみ いさみてすすまん
大地踏みしめて ああ、希望にあふれて
われらはすすまん</p> <p>2. 恐れはあらじ いさみてすすまん
招きにこたえて ああ、希望にあふれて
われらはすすまん</p> | <p>3. われらの勝利 主は待ちたもう
はげましあたえて ああ、希望にあふれて
われらはすすまん</p> <p>4. 手をたずさえて たがいにすすまん
勝利のときまで ああ、希望にあふれて
われらはすすまん</p> |
|---|--|

ワイズソング「いざ立て」

1. いざたて 心あつくし 手を挙げ 誓いあらたに
われらの モットー守る ふさわし
その名ワイズメン 絶えせず めあて望み
この身を 捧げ尽くさん
2. 歌えば 心ひとつに とものがき ひろがり行きて
遠きも 近きも皆 捧げて
立つやワイズメン 栄えと 誉れゆたか
まことは 胸にあふれん

「YMCAの歌」

1. 若人のあつき祈りは 百年の歴史をつづる
とこしへの 望みに燃えて 栄えあり YMCA
われらまた こぞりて立たん
2. 開拓のみむねかしくみ 福音のみ旗は進む
地のはての 国々までも ひかりあり YMCA
われらまた 勇みて行かん



- ① 実行委員長 為国ワイズの閉会挨拶
- ②③ パレスメンバー全員による握手でのお見送り
- ④⑤⑥ リハーサル風景
- ⑦ 例会を終えて、ほっと一息 これからメンバーのショートスピーチが始まります

40+1周年記念例会PT

- | | |
|--------------|-------------|
| 会長 | 森田美都子 |
| 実行委員長 | 為国 光俊 |
| プログラム委員長 | 大野 嘉宏 |
| 副委員長 | 吉岡 幸次 |
| 登録委員長 | 西枝 攻 |
| 副委員長 | 堤 雄次 |
| IBC・DBC委員長 | 井上 均 |
| 副委員長 | 千賀 修 |
| 記念誌・ビデオ編集委員長 | 杉本 泰造 |
| 副委員長 | 西川 寿一 |
| 記念例会ナビゲーター | 大野 嘉宏・森田美都子 |
| 懇親会ナビゲーター | 川上 孝司・塚本 優子 |



「京都パレスクラブ40+1周年」に感謝して
 ー 全てのワイズメンの大きな愛のもとに ー



第41期会長 森田 美都子
 MITSUKO MORITA

“What a wonderful Y's!”

41年を経たパレスクラブのほとばしる情熱と啓蒙から出たこの言葉がワイズメンである最高の誇りとすばらしさをスペクタクルに謳いかけます。

日本中に衝撃が走り、そして今尚読む爪跡深い未曾有の東日本大震災2011・3・11。その日、パレスクラブは一ヵ月後に40周年記念例会を控え準備万端で待つのみでした。この大震災に直面し「今、我々がワイズメンとして成すべき事は・・・」と問いかけた時に達した結論は、40周年記念例会を断念しその日の為に貯えた記念例会費用を全て災害復興支援金としてYMCAに託そうという選択でした。パレスメンバーの誰一人として反対する者はなく、最も正しい選択肢であったと確信するも、瞬時にして消え去った記念例会への想いのやり場を失い、心の奥底で落胆の念を禁じえなかったのも事実でした。

しかし一年後、メンバーの渾身の熱い思いがパレスクラブ「40+1周年」のキャッチフレーズをかかげ、念願の記念例会開催実現へと大きく繋がりました。

パレスクラブは1971年の誕生以来、5クラブの子クラブをチャーターし、孫クラブ、ひ孫クラブが京都部18クラブ中、14クラブに及ぶワイズ図式を展開してきた歴史を持ちます。全ては精鋭なる先輩諸氏の培ってきた長年に亘るあくなきワイズへの情熱、意欲、目標意識の高さを今日に至るまでの新旧メンバーが協調と努力を怠ることなく受け継ぎ、パレススピリッツを確立してきた成果の賜物です。そして何よりも我々が敬愛の念を表して止まないのは、パレスクラブを常に温かく見守り研鑽する場面を随所に与え、友情の絆で強く結ばれている全ワイズメンのご支援とご協力はどの言葉を以ってしても感謝と敬意に余りあるものがあります。この場をお借りして心より御礼申上げる次第でございます。

今期パレスクラブは光栄にも「最優秀クラブ賞」を受賞することが出来ました。最高の「40+1」周年となりました。そして次なるパレス半世紀50周年に向けて力強く歩み始めます。何よりもまず会員増強と親睦を大切にすることを怠ることなく “It goes on!” 期せずしてYMIはvision2022のもと、10年後のワイズメンズ活動100周年に際し「100カ国、5万人」のメンバー目標を大きく掲げています。ワイズメンである我々一人ひとりがこの目標をしっかりと意識したいと思います。世界規模のワイズメンとしての立ち位置を感じながら「+1・プラスワン」志向を持つことは必ずや計りし得ない誇りと栄光をクラブにも自身にも大きくもたらす事でしょう。

この記念誌を手にしていただくメンバー諸氏、そして世界中のワイズメンが “What a wonderful Y's!” 胸奥深くこの言葉を感じ、「+1」のステップを手をとり合って上って行く素晴らしいワイズの未来に架ける橋への第一歩となる事を切に願ってやみません。

40+1周年を終えた今、パレスクラブは心の手綱を尚一層引き締め益々のワイズ活動に努力邁進する所存であります。皆様方には、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を何卒よろしく御願いたします。京都パレスクラブ40+1周年にあたり、全ワイズメンの愛に心から感謝を申し上げ巻頭のご挨拶とさせていただきます。

パレス理論の実践の場となった4年間



40+1周年記念例会 PT 実行委員長
 為国 光俊
 MITSUTOSHI TAMEKUNI

パレスクラブが40+1周年を迎えたことによりまして、今日に至るまでを振り返りたいと思います。今から遡ること6年前、35期（2005年～2006年）の頃のパレスクラブは、50名前後のメンバー数で人数に変化もなく安定しており年齢層もバランスよく構成されている状況でしたが、38期（2008年～2009年）に数名の若い世代のメンバーが入会したことによってクラブの雰囲気が変わりだしました。その2年後に40周年を迎えるということも背景にありました。若い人たちの視点から奉仕活動を見直してみよう、ワイズの認知度を高め広められるような奉仕事業をしてみよう、という気運が高まりはじめたのです。

さっそく38期において追加事業検討委員会が設置されて、新しい奉仕事業を模索しながら40周年記念事業の準備をしようとスタートしたわけです。追加事業検討委員会は、39期（2009年～2010年）には記念例会準備委員会と名前を変え、さらに実行委員会となって継続され、多くの時間をかけて検討を重ねていきました。最終的には「メンバー増強」が記念事業の柱となっていくのですが、その経緯については、別ページ「なぜ100名なのか？」を是非ご一読いただければと思います。

パレスクラブにとって幸運だったことは、明確な目的を持って記念事業を推し進められたことでした。クラブの歴史を振り返れば5つのクラブをチャーターしたという実績がありますが、メンバーの半数以上はその体験をしていません。しかし、その未体験のメンバーがクラブ活性化の大きな原動力となりました。「親睦で培ったエネルギーがクラブを楽しくし、楽しいクラブに必ず人は集まる」自分たちの手で、その素晴らしさを実感したいと強く思ったわけです。ただ、すぐに上手くいったではありませんでした。最初の壁をブレイクスルーして大きなきっかけを与えていただいたのは、チャーターメンバーのお二人でした。真っ先に新入会員をスポンサーされたのです。そして、クラブは一気に動き出します。これにより、会員増強が現実のものとなって40周年を迎えたパレスクラブは「人との出会い、成長、喜び」に満ちあふれ、人が集う原点とはいったい何なのかというテーマをメンバー全員の心に刻むことができたのです。

いまパレスクラブには世代交代の大きな波が押し寄せてきています。過去5年以内に入会した30名を超えるメンバーが実力を発揮しているからです。若手メンバーの働きがメンバー増強を推進し、記念例会をまとめあげてくれました。これからも新しい風を取り入れ、過去にとらわれず、常にパレスらしいことを追求し、新たな目標を掲げて邁進していくクラブであり続けてほしいと願っています。

最後になりましたが、40期（2010年～2011年）のクラブ主題を「一致団結～パレス100名を目指して～」としてクラブの方向を導き、明快な目標設定をした山本一博40期会長に敬意を表します。そして、4年越しの周年事業に尽力をいただきパレス理論の実践をおこなってこられた全パレスメンバーを讃えるとともに、あたたかく見守っていただきました多くのワイズメンの皆様へ心よりお礼を申し上げる次第です。

祝 辞

40+1記念例会に感謝して

京都 YMCA 総主事 神崎 清一



とても楽しくて素晴らしい記念例会。ここに至るまでの40年間の様々な歴史と、その間に取り組んでこられた様々な事業を通して果たしてこられた社会へのご貢献。そして京都のみならず日本、アジアなどの地域を越えて世界のワイズメンズクラブに多大な刺激と影響を与えてこられた京都パレスワイズメンズクラブ。

また、何よりチャーター以来、私達京都YMCAの青少年育成をはじめとした活動に大いなるご支援を賜り、いつも力強く励ましていただいています。さらには、東日本大震災のあとには素早く、社会にとって、私達にとって今何が必要とされているのかということからいち早く大きな決断をされましたことには本当に敬服の気持ちで一杯でありました。そしてその後の被災者支援活動を奮い立たせられる源でありました。17年前にパレ

スクラブの連絡主事でありました時に、阪神淡路の地震で神戸に支援活動をさせていただきました。その時いつも励ましお支えいただいたことにあらためて感謝の気持ちでいっぱいです。

そして一年。さらにメンバーが増え、記念事業に新しい方も大いに関われ、皆さんの思いも一つひとつのプログラムにこめられ、きっと何倍にもバージョンアップされたものと感じています。スマートで心温まる会でありがとうございました。そして何より、為国光俊40+1記念例会実行委員長、森田美都子会長、山本一博直前会長をはじめメンバーお一人おひとりの貴重なお働きに心より感謝申し上げます。

Towards 2022

直前国際会長 (東京江東クラブ) 藤井 寛敏



京都パレスクラブ会長森田美都子様、クラブメンバーの皆様、40+1の記念例会が盛大に開かれましたこと心よりお祝い申し上げます。

1971年、京都クラブのチャーターにより、スタートした貴クラブは内部に力を蓄えつつ1980年前半には大爆発し、いくつかのクラブをチャーターして今日の京都におけるワイズ隆盛の基礎を作られました。そして今また停滞気味な日本におけるワイズ運動を鼓舞するように会員増強を進め、新たな時代の旗手として我々の進むべき道を示そうとされております。昨年は準備万端整った40周年の式典を東日本大震災のため自粛し、震災復興のためその準備してきた資金に尚加えての多額な寄金をされました。その決意を内外に示し、自らを鼓舞すべく、ここに40+1の記念例会を迎えられました。

国際協会におきましては創立100年を迎えます2022年には生まれ変わった新しいワイズとしてTowards 2022というプロジェクトを立ち上げました。これは世界100カ国に50,000名を以って我々の運動が次の100年に確実に繋がるような組織にしていこうというものであります。

貴クラブは国際の示す指針に疑いなく真直ぐにその道を進んで来ております。400名に達せんとする沢山のお祝いのための参加者が日頃の貴クラブの活動に対する賛辞と敬意の表れであり、日本からの国際協会の役員として私は貴クラブのような素晴らしいクラブが日本に存在することを本当に誇りに思っております。

今後とも研鑽を重ね、日本だけでなく、世界のワイズメンズクラブの目標となるクラブであり続けていただきたいと思います。誠にありがとうございます。

祝 辞

クラブ創立40+1周年おめでとうございます!

西日本区理事 (近江八幡クラブ) 浅岡 徹夫



1971年に京都クラブより誕生した京都パレスワイズメンズクラブは、昨年4月に40周年記念例会を予定されておられたが、同年3月11日に東日本大震災が発生したため、急遽記念例会を中止。それまで準備された資金を含め多額の献金を被災者のために捧げられたとお聞きし、「これがワイズだ!」と大変感銘を受けたことを鮮明に覚えています。あれから1年、京都から元気を送ろう、と改めて40+1周年記念例会を企画された。これもまた「さすが京都パレス!」と感心しました。この記念例会には、部会の規模を超える370名以上の皆さんがお祝いに駆けつけられました。京都パレスクラブはこれまで数多くのクラブをチャーターされ、京都部の礎を築かれたクラブですが今もなお会員増強に努められ、実に100名の会員を目指されている偉大なクラブでありま

す。また多数のIBC、DBCを締結して活発な国際交流を行い、この記念例会にも国外より多数のIBC同志が駆けつけ、今回香港の九龍クラブとの新たなIBCが締結されました。この記念例会をクラブチャーターメンバーでもある大野元理事が司会を引き受けられ、若い有力な新人の入会式を挙行されたり、入会順に全メンバーを紹介してその若さと活力をアピールされる等、京都パレスクラブの熱い思いとワイズの理想的な例会のあり方を身を持って示していただいたような感銘を受けました。何時までも記憶に残る素晴らしい記念例会だと思います。英語堪能で見事に大役を果たされた森田美都子会長を始め、記念例会を成功に導かれた全ての関係者の皆様、お疲れ様でした。創立40+1周年おめでとうございます。

京都パレスクラブ「40+1周年」貴クラブの発展を願って!

京都部部长 (京都みやびクラブ) 前 登



京都パレスクラブの40+1周年まことにありがとうございます。

京都パレスクラブは1971年3月14日にチャーター以来、5つの子クラブを生み、その子クラブがさらに9つのクラブを生んでいるクラブです。またパレス方式や京都方式と言われるようにホテルでの例会を実施するようになった原点のクラブでもあり、親睦と研鑽をもとに小堀理論を継承している一番のクラブと認識しております。

パレスクラブはここ数年EMCの会員増強を牽引していただきました。メンバー総勢72名は西日本では最大のクラブです。周年記念例会では、そのメンバー紹介の場面にて改めてそのことを実感させていただきました。そして記念例会ではそのパレスクラブの特徴が随所に表れておりました。まず通常例会と同じように例会進行

においては規律正しく、また服装も統一されており、ステージ設営もマッチして、まさにワイズメンズクラブの記念例会にふさわしく、たいへん感銘いたしました。そしてそのクラブを率いてゆくパレスの会長が、初の女性の森田会長であったことも、何か演出のような気さえするほどの筋書きを感じさせていただきました。

私も「クラブの発展はメンバーの皆がワイズの思いを共有して、前向きな心を持つこと」と思っております。「小さな一歩!大きな前進」との標語のように、感謝の気持ちとコミュニケーションがニューメンバーのスタートの一歩としても大切でしょう。どうか今後ともメンバーの皆様を大切にして、メンバー100名を目指し、さらなる発展をして京都部と西日本区のクラブの模範となっていただくよう期待いたしております。

祝辞

祝辞

東京グリーンクラブ会長 柿沼 敬喜



京都パレスワイズメンズクラブの森田美都子会長はじめ、メン、メネットの皆様がクラブ創立40周年+1記念例会を挙行されて、この度、記念誌を発刊されることは大変意義深いこととDBCの東京グリーンクラブを代表して心からお祝い申し上げます。

私どものクラブは貴クラブより2年遅くチャーターしましたが、小堀憲助中央大学教授の「奉仕論」に共感し、DBC締結以前のクラブ設立間もない頃より親しく交流をさせて頂くなか、貴クラブにおかれては、会員の親睦と自己研鑽を基盤としてワイズ活動の実践と拡大を図られて、今日までに新しいクラブを次々に誕生させ、5つの子クラブ、孫、ひ孫らは9クラブにもおよぶとのこと、皆様の情熱と献身に対し敬意を表する次第です。

貴クラブが西日本区で最も元気のあるクラブと伺って

おりましたが、まさに、今回の記念例会は昨年の40周年記念例会の直前で苦渋の決断をされて改めての式典にも拘わらず、素晴らしい感動的なプログラムが進行する中で、力強い「パレス宣言」をお聞きし、貴クラブの心意気が覗い知れて大変感銘を受けました。また、私どもとIBCの締結をしているフィリピンのマニラダウンタウンクラブとの間で昨年4月にトライアングルが締結されましたが、今回の記念例会の席で、皆様にご披露出来たことは、誠にまでご同慶の至りです。

この機会に、私どものクラブも、発刊される記念誌を参考にさせていただき、原点に立ち戻り、活気あるクラブ作りに努めて参りたいと思っております。最後になりましたが、京都パレスワイズメンズクラブの益々のご隆盛を祈念して祝辞とさせていただきます。

40+1周年例会に参加して

熱海クラブ会長 池田 直文



京都パレスクラブの40+1周年例会、誠にありがとうございます。パレスクラブとブラザー締結をして早16年になります。貴クラブが西日本区の雄として日本のワイズの雄として活躍されている事に敬意を表します。

当日知った事ですが、昨年の3月11日の東日本大震災で記念例会を延期された苦悩、そして500万円もの大金を寄付支援されたこと、パレスクラブでなければ出来ないことだと思つづく思いました。参加した熱海クラブ14名も延期への決断、被災地への支援とパレスクラブは素晴らしいと感動しておりました。

大会前日は、南禅寺前の「順正」で前夜祭として、IBC・DBCクラブ共々お世話になりました。パレスの皆様様の心のこもったサービスに感激しておりました。

当日の記念例会は、圧倒されました。大野ワイズの味

のある司会と、森田会長の素敵な声で流れるような進行で、参加者を飽きさせることなく楽しい宴となりました。私たち熱海クラブも来年には50周年を迎えます。パレスクラブさんの記念例会が参考になりましたし同時に大きなプレッシャーとなりました。

それは、参加した参加した14名のみならず、クラブ全体としてパレスに負けるな、パレスさん以上の記念例会をしなければという思いからです。西日本区の雄と称される京都パレスクラブとDBCを結んでいる我が熱海クラブも共に切磋琢磨し成長していきたいと思います。

最後になりますが京都パレスクラブ皆様のご健勝と貴クラブの益々のご発展を祈念いたしましてお祝いとお礼のメッセージとさせていただきます。

記念例会の大成功オメデトウゴザイマス!

祝辞

Y SERVICE CLUB OF EAGLEHAWK
Sends Best Wishes for Your 40+1 Anniversary
To Our Brother Club
Y'S MENS CLUB OF KYOTO PALACE
APRIL 2012



Back Row Left to Right: Barry Hazeldene, President- John Gregory, Laurie Sheldon, Treasurer - Nick Farrell
Centre: Harry Smith, Vice President- David Austin, Kel Lucas, Alan Riley, Bruce McClelland, Trevor Crossley
Front: Ian Wild, Secretary - Jim Banfield, Ted Brown, Ted Bullock, Bill Dunstan, Francis McGowan, Daniel Bourke

Absent from photo:



Max Rule



Les Trimble



Bernie Hinton



John Klein



John White



Trevor Edwards



Graeme Sheldon

台中 エバーグリーンクラブ

Ll, Chun-Jhang
President



We congratulate your 40th plus 1 anniversary.

It was a wonderful memorial event.

We appreciate your warm hospitality while we were in Kyoto.

We hope that your club and our relationship continue to develop more and more.

祝辞

マニラ ダウンタウンクラブ

Arthur G. Sy

Club President (2011-2012)
Manila Downtown Y's Men's Club

“ On behalf of the Manila Downtown Y's Men's Club, we would like to congratulate you on your “40th + 1” Anniversary Celebration and we wish more power to our Brother Club - The Y's Men's Club of Kyoto Palace.”



香港 九龍クラブ

Philip Ko

President
Y's Men's Club of Kowloon.

On behalf of all the members of the Y's Men's Club of Kowloon of Hong Kong District, I extend our heartiest congratulations on the immense success of the 40+1 Anniversary of the Kyoto Palace Y's Men's Club.

The Kyoto Palace Club has made remarkable achievements over the past years. This has no doubt been attributable to the enthusiasm of members of your Club in developing Y'sdom and the able leadership of your goodself and your predecessors.

The 40+1 Anniversary celebrations including the tour on 21 April, the ceremony and dinner on 22 April were well organized. The ceremony

and the dinner was indeed spectacular. All the delegates of our Club who attended thoroughly enjoyed the programmes.

We are glad that the Brother Clubbing ceremony of our two Clubs formed part of the celebration of the Anniversary. As our two Clubs march into the future, we look forward to working with your Club together for many years to come in extending the Y's Men's movement and promoting social services and Christianity.

0,Yours Y'sly,



元パレからのエール



パレスに相応しい What a Wonderful Y's!

—京都パレスクラブ創立 40+1 周年記念例会を祝して—

京都パレスクラブチャーターメンバー 森田 恵三 (京都ウエストクラブ)

例会式場に足を踏み入れるやまず目に飛び込んできたのは、朱も鮮やかな“What a Wonderful Y's”のフレーズ。思わず「やるなあ～さすがにパレス!」と感嘆したのでした。

絨毯張りのステージ、バックウォールには丸木戸の設え(メンバー紹介時の登場口だったとはおどろきでした)、正面横に飾られた満艦飾のAwardバナー、ユニークなプログラムの進行、元パレワイズを壇上にて披露し、チャーターメンバーの岡本ワイズと私には掛け合いでの乾杯音頭役として華をもたせていただくなど、思いやり溢れる来客接遇の仕方のすべてにわたる磨かれたセンスにはつくづくパレスの伝統を感じました。

久々にユニークにして活力漲るパレスパワーを感じた私は、会場の席が落ち着くしばしの間、古巣パレスの41年前のチャーターナイトの思い出に耽っていました。

当時36歳、平均年齢28歳のパレスにあっては3番目の年長者でしたが、まだワイズのなんたるかもわきまえない中で、年長ゆえの副会長として、晴れがましい舞台上での閉会挨拶をさせていただいた時には、緊張感とともに心に熱く得も言われぬ深い感動を覚えたものでした。

その後40年を超えるワイズライフにあって、多くの畏友を知り、他につくす奉仕の喜びと感動を体得したことが、自分自身の人間的成長への生きた糧となり、齢80歳にも届く今もなお、ワイズ温泉にどっぷりと浸りきる

私を支えているのは、あの時に味わった感動が原点であると感謝しています。

さて、私ごとはさておき、パレスの皆さん、創立40+1周年記念例会の成功まことにおめでとうございます。

What a Wonderful Y's! 「ワイズってなんて素晴らしいんだ!」と、このフレーズを堂々と掲げられるのは、正にパワフルなパレスに相応しいからだと思えます。日本のワイズ運動の歴史にあって革新の新風を吹き込み、次々と双子を含む子供や孫クラブを生み育んできたパレスが、記念例会壇上に誇りに満ちた顔で勢揃いされたヤングメンバーの成長活躍をもって、一段の活性化を図られ、未来永劫いつまでも燦然と光り輝き続けてゆかれることを心よりお祈りして、お祝の言葉とする次第であります。



パレスクラブ40+1周年記念例会を祝して

京都パレスクラブチャーターメンバー 岡本 尚男 (京都キャピタルクラブ)

私は1971年1月15日、大野嘉宏さんから「京都パレスクラブ設立」に誘われ、ワイズメンズクラブ活動にのめり込み、小堀憲助先生の「奉仕クラブ論」は私の心深くにしみこみました。クラブ運営だけでなくビジネスにも必要な哲学が語られていたからです。

その後、その学びを継続し実践したお陰で会員数は61名に達し、毎月2回の例会が会員同士の親密な交流と親睦の社交場であり続けることが困難となってきました。

クラブ運営の適切な人数はほぼ50名位で、それを超えるとエクステンションだと「奉仕クラブ論」で学んでいましたので、クラブ設立「10周年記念事業企画委員会」の答申を受けて1980年に10名の会員を送りだして京都ウエストクラブが設立されました。それでもなお2年後には83名の会員を擁するまでになり、特別委員会を設置して「パレスクラブのビジョンに関する答申案」に沿って、1983年、京都めいぶるクラブに19名・京都キャピタルクラブに18名の会員を送り込んで、双子クラブを設立し、現在は京都市内に16クラブ、約500名が京都YMCAを支えるまでになりました。

この度の記念例会で、貴クラブは100名の会員増強を目指し、その意義を宣言されました。しかし今後の運営にはかつての「答申案」や、西日本区から発刊されている「ワイズ読本」などを参考にされて、現代に相応しい十分な知恵と配慮を構築し、100名を達成した時の

ビジョンが必要となります。

今回の記念例会会場で大写真にされたチャーターナートの記念写真の24名の中から5名の区理事、役職はだぶっていますが3名の主任、5名の部長、写真にはありませんが2名のメネット主任を輩出したのは、ご本人たちの研鑽は当然としても、パレスクラブにはクラブ運営に必要な哲学があったからだともいえるでしょう。

このような歴史のある貴クラブの今後には、世のため、人のために働く「奉仕の心」をもった多くの有為の人材を京都部、西日本区、アジア地域、国際に送り込み、ワイズメンズクラブの発展と世界平和に貢献する活動を期待いたします。

併せて、会員各位が一般社会の、ご自分の世界に戻られた時にも「奉仕の心を持って一人で働く」ことで存在感を増し、そのことがYMCA発展に寄与し「国際聖句」にかなった生き方であり、ワイズメンズクラブの創設者である、ポール ウィリアム アレキサンダーが願っていたことだということを自覚され、より良い人生を送られますことを祈念しています。

京都パレスワイズメンズクラブ40+1周年記念例会にて「パレス宣言」をさせて頂きました。その文面をまずはここに転載いたします。

パレス宣言

京都パレスワイズメンズクラブは、私たちの想いを言葉にし皆様にお約束いたします。

私たち京都パレスワイズメンズクラブは引き続きメンバー100名を目指した努力を継続いたします。

志を同じくするメンバーを増やし、親睦と研鑽の機会を拡大することこそ、YMCAを通じた奉仕という目的に沿った、最も価値ある貢献であると考えます。

以上、40+1記念例会の良き日にあたり、京都パレスワイズメンズクラブの宣言とさせていただきます。

時を遡ること約4年。2009年（第38期、田中一馬会長期）の年末頃だったと思います。私は2年後に行う予定の40周年記念例会に向けて、どの様なアクトを行っていくかを考えていました。出来ることならば、その時限りの打ち上げ花火で終わらたくない。継続的に取り組むことが出来、その後のワイ

なぜ100名なのか？

ズ活動に大きな変化をもたらしたと評価される様な、そんな事業に取り組みたいなどと希望していました。まあそれは純粹無垢と言いますか、クラブ運営の難しさを知らない子供の夢の様な望み。ただ、そんな身の丈を越えた話を一笑に付すのではなく、真剣に聞いてくれる仲間がいました。

毎晩の様に飲み食いしながらワイズ談義をする中で、是非取り組みたいと思ったアイデアは「ユースクラブの設立」でした。それも西日本区や京都部に働き掛けて設立するのでは無く、パレスが単独でユースクラブを組織し、経済面、運営面ともに直接的に支援するというものです。ワイズメンの子弟はもとより、YMCAリーダーのOBや成長の場を求めている若者を集め、その発想とバイタリティを活かした奉仕活動が出来るのではないかと考えたのです。

2010年になり第39期の隠塚功会長期になっても、このユースクラブ設立案について私は乗り気でした。機会ある毎にメンバーに説明し、相談をしました。そうする中で1つの衝撃的な意見に出会いました。「ユースクラブも良いが、そもそもパレスクラブ自体にかつての様な魅力はあるのか？」というものでした。私は正直、面食いました。20代の若者を支援する前に自分達はどうか。メンバーほぼ固定、毎年の活動は定型化、そもそも自分達のクラブに本当の親睦、本当の成長の場はあるのかと問われ、答に窮する気分になりました。

これまで周年事業をはじめ様々な機会にパレスの軌跡や小堀理論について見聞きしてきました。過去のパレス活躍の記

録に触れる機会も多々ありました。しかしながら、それらが自分の血肉になっているか、パレスを通じて自分達の成長が実感できているかと問われると自信がありませんでした。自分達のクラブはどうあるべきか。「心を求めて例会に至り、境地を得て例会を去る」という実感を得るためには、具体的にどういう要件が必要なのか。「かつて確かにあったパレスの魅力」とは一体何だったのか。今ふり返ると、パレス宣言に至る私たちの議論はこの頃から一気に深まっていったと感じます。

確かな結論を得られないまま第39期も下半期に差し掛かり、そろそろ議論を収束すべしとの機運が高まりました。「何をやるのか決めなければならない」というプレッシャーの中、私たちが出した答は「メンバー増強」でした。パレスクラブに集う私たちが、クラブに求めるものは何か。逆に自分がクラブのメンバーに提供できるものは何かと考えた時、突き詰めたところにあるのは、「新鮮な出会い、気付き、驚き、成長、達成感」といった言葉に表される様なことが体感できる「自己研鑽の場」であろうという結論に至っていました。そして、それを実現するために必要なのは、絶えず新しい価値観、考え方を取り入れること。仕事や年齢など属性の違うメンバーを増やし、親睦と奉仕活動の中で影響を与え合う機会を増やすことであるという訳です。

方向性が決まれば、パレスクラブは凄まじい推進力を発揮します。単に「メンバー増強」と言うだけでは面白くないと相談したところ、パレスクラブが日本最多のメンバー数として記録していた人数が93名であったことを、今は亡きチャーターメ

ンバーの宮本さんが調べて達筆のFAXで送って下さいました。それならばと、目標は100名に置くことにしました。その後、直ちに会員増強の為のプロジェクトチームが立ち上がり、様々なアイデアを試して参りました。それらの活動は今も絶賛継続中です。

長々と書いて参りましたが、最後もう一点だけ付け加えさせて下さい。私たちは「メンバー100名を目標とする」という議論の中で、YMCAのサポートクラブであるというワイズメンズクラブのあり方についても考えることが出来ました。クラブの周年事業として一定のお金や物品をYMCAに寄贈するのも素晴らしいことではありますが、私たちはワイズメンズクラブとしての魅力を通じて人を集め、クラブでの自己研鑽により各人が成長すること、さらにはYMCAの活動を理解し、それに賛同するメンバーを増やすことこそが、YMCAサポートにおいて最も価値ある行動なのではないかと考えるに至りました。

今後京都パレスワイズメンズクラブは、YMCAを通じた奉仕、YMCAのサポートに賛同するメンバーを増やし続けます。その為に、私たち自身がパレスクラブという場で自己研鑽に励み、親睦の輪を拡大して参ります。今後もパレスクラブが絶えず新陳代謝を繰り返しながら、発展・拡大して行きますよう祈りつつ、「パレス宣言」に込めた思いの報告を終わります。ありがとうございました。

京都パレスワイズメンズクラブ 第40期会長
山本 一博

主題 クラブ “Aim To Be Somewhat Different” —「何かちょっと違う」を目指そう—
 国際 Building New Y'sdom With The Teaching Of Jesus Christ
 アジア Be a Grain Into The Ground
 西日本 No Dream No Future “—クラブ・ビジョンを語ろう—”
 京都部 Naturally And Gently “—自然にさらに自然に—”



「何かちょっと違う」ってどんな事?

第31期会長 鈴木 俊一



京都パレスクラブが誕生して満30歳、人間では働き盛りに入るところですが、組織の場合は同じように行かないのが普通だと言われています。

当クラブも若さと情熱に溢れたチャーターメンバーが異なる意見を乗り越えて新しい試みに挑戦し「大いに違う」クラブ創りを目指した創生期、多くの賛同者を得て、五つのクラブをチャーターした成長期、そして今、静かに衰退期に向かうのか、新たな成長に向かうかの分岐点にある事をメンバー各人が認識する必要が有ります。

同じ様な年齢層、社会階層、価値観、生活観を持った人達の集まったグループは初期段階では人も羨む、良い組織として活発に活動出来ますが、時と共にメンバーの高齢化や減少により、活力を失った例は数多くあります。

幸い我がクラブのメンバー構成は青年組、壮年組、熟年組が、ほぼ3分の1の割合で配分され、表面上は活性化された組織といえますが、新たな問題を含んでいる事も認識する必要が有ります。

各階層の違った背景からくる価値観、考え方、人生観、表現方法、好みの違い等々から起る多様性が存在する事は否定出来ません。これらの多様性をひとつの物に集約することは全く不可能であり、組織の弱体化

を招く為には避けなければなりません。

そこで重要なことは、我々ワイズメンのモットーである「強い義務感を持つ、義務はすべての権利に伴う」を常に意識して、そしてこのモットーの下に色々な違いを乗り越えて積極的に困難な問題にチャレンジしてこそ人々の共感を呼び、活力あるクラブとして一段の飛躍が期待できるでしょう。モットーを忘れれば、ただの「お年を召した青年団」になる可能性大です。

大きく変化する事を望まず、今までの活動を全てにわたって見直し、改善に努め、結果的に「何かちょっと変わったな」の評価を得られる様に努力したいものです。

第31期 役員名簿

会 長	鈴木 俊一	EMC委員長	隠塚 功
副 会 長	大野 嘉宏	交 流 委 員 長	三尾 啓
〃	田中 慎一	フ ァ ン ド 委 員 長	吉田 享弘
書 記	井上 均	広 報 委 員 長	山本幸三郎
〃	篠原 孝弘	ド ラ イ バ ー 委 員 長	永井 孝
会 計	西枝 攻	長 期 ヴ ィ ジ ョ ン	大野 嘉宏
〃	平井 久夫	連 絡 主 事	加藤 俊明
Yサ・ユース長	山岸 弘侍	京 都 部 直 前 部 長	杉井 恭敏
地 域 奉 仕 委 員 長	安岡 忠男		

◎活動報告 2001年7月～2002年6月

7月	1日	リトセン開設ワーク
	7～8日	次期役員キックオフ研修会 於 江寿山荘
	11日	第一例会 (定期総会) 第729回
	15日	サバエ開設ワーク
8月	19日	第二例会 (納涼例会) 第730回 於ロテルドHIEI
	8日	第一例会 (EMCアワー) 第731回
	18日	サバエ冒険キャンプ
	22日	第二例会 第732回 ゲストスピーカー 今日庵 小林哲夫 氏
9月	23～26日	アジア大会 於台中
	28日	和敬学園地蔵盆
	2日	リトセン閉設ワーク
10月	12日	第一例会 第733回 ゲストスピーカー 教育コンサルタント 中原藤子 氏
	23日	第6回京都部会 (第二例会振替) 第734回 於 キリンピアパーク
	8日	第一例会 (リトセンファミリー例会) 第735回
	21日	ワイズポテト販売
11月	24日	第二例会 第736回 ゲストスピーカー 神戸YMCA副総主事 近江岸建助 氏
	27日	東京グリーンクラブ神田川船の会参加
	3日	京都YMCA国際福祉専門学校学園祭
	11日	ワイズデー・YMCA国際協力街頭募金
12月	14日	第一例会 第737回 ゲストスピーカー クイック英語学院代表 北尾隆明 氏 (第一回)
	18日	リトセンオータムフェスタ
	28日	第二例会 第738回 ゲストスピーカー クイック英語学院代表 北尾隆明 氏 (第二回)
	12日	第一例会 第739回 ゲストスピーカー 京都当道会師範 成田松代 氏
12月	15日	京都YMCA会員クリスマスキャロリング
	22日	第二例会 (クリスマス例会) 第740回

1月	12日	第一例会 (4クラブ新年合同例会) 第741回 於 からすま京都ホテル
	23日	第二例会 (半期総会) 第742回
	30日	献血 於京都YMCA国際福祉専門学校
2月	13日	第一例会 第743回 ゲストスピーカー 上方芸能代表 木津川計 氏
	16日	京都YMCA創立99周年記念会員集会 於 三条YMCA
	24日	車椅子駅伝
	28日	第二例会 (TOF例会) 第744回 ゲストスピーカー 神戸YMCA総主事 山口徹 氏
3月	10日	京都YMCA卒業リーダー祝会
	13日	第一例会 第745回 ゲストスピーカー NTT西日本 川端信男・大西紀美子 氏
	15～16日	EMC親睦旅行 (山中温泉)
	17日	サバエキャンプ場木の伐採ワーク
4月	25～26日	熱海クラブ訪問
	27日	第二例会 (トスファン) 第746回
	6日	第一例会 (花見例会) 第747回 於 左阿彌
5月	19～20日	仁川チェムルボクラブ35周年記念例会参加
	24日	第二例会 第748回 ゲストスピーカー 杏林予防研究所所長 山田豊文 氏
	8日	第一例会 第749回 ゲストスピーカー 1976年モントリオールオリンピックバレーボール金メダリスト 中野 (旧) 岡本真理子 氏
	19日	和敬学園ボウリング大会 於MKボウル
6月	22日	第二例会 第750回 ゲストスピーカー 京都YMCA副総主事 神崎清一 氏 於 烏丸京都ホテル
	31日	2002年度京都YMCA定期総会
	8日	第5回西日本区大会 (第一例会振替) 第751回 於 ホテルグランピア京都
	22日	次期役員キックオフ研修会 於三条YMCA
6月	26日	第二例会 (引継例会) 第752回

7月/次期役員キックオフ研修会 韓国 朴先生夫婦と家族と共に

8月/アジア大会 於 台中

6月/第5回西日本区大会

6月/第5回西日本区大会 BF総合達成優秀賞受賞



2002 活動の記録 / 2002.7→2003.6

主題 クラブ モアーコミュニケーション
 国際 Groth Through Service (奉仕による成長)
 アジア Intonge Bright Light Of Selflessness (無私の奉仕で輝く未来へ)
 西日本 ベクトルを合わせ、地域と友の活動を
 京都部 更なる友情を求めて



10月/西日本大会の合同ホストの金沢3クラブの合同例会参加



11月/国際協力街頭募金



11月/第二例会にて30歳独身の平野雅幸君入会式

なぜモアーコミュニケーション

第32期会長 荒川 徹



ではなく、やるという考えから始めて、どうしたら成果が生まれるかを考えていかなければならないと思います。

「青春とは心の若さである」と言われています。パレスの若返り並びに次期提会長、そして大野次期西日本区理事の布石になるように努力致しますのでメンバー諸兄のご協力を御願い申し上げます。そして明るく、楽しく、元気な1年を過ごさせて頂きます。

今、Wカップが開催されていますが、私は物事を考える時によくサッカーに例えて考えます。サッカーはパスを出す時に相手を信頼しているから、信じているからこそパスが出せます。受ける方も出してくれるであろうという信頼があるからこそ走れます。物を言わずともここでアイコンタクトが生まれます。

単に一流のプレイヤーを11人集めてチームを作ってもWカップでは優勝できません。では、チームとして成果を上げ勝利するにはどうしたらいいのでしょうか？練習の中で、厳しい要求をしたり相手を励ましたりしながらコミュニケーションをとる事によって信頼が生まれてきます。勝利という共通の目標に向かって優しさと厳しさを持ちながらコミュニケーションをとる。礼節を持って、しっかりと話し合う。そこで全員が目標に対してしっかりと方向が決まり、成果が上がると思います。

我々パレスクラブに置きましても古いメンバー、新しいメンバー、何々経験者など一切肩書きなどは関係無しに、人としての敬意と誠意を持った関係において、「モアーコミュニケーション」と考えています。今まで以上に問題を提議してください。その問題に対して、メンバー全員がしっかりと議論し、パレスの活性化、しいては変化を考えています。安定は楽ですが、変化に対する対応が出来ません。何事もやらない事から始めるの

第32期 役員名簿

会 長	荒川 徹	地 域 奉 仕 長	田中 慎一
副 会 長	杉本 泰造	EMC委員長	河合 信也
〃	為国 光俊	交 流 委 員 長	川勝 政男
書 記	西川 寿一	フ ァ ン ド 委 員 長	山岸 弘侍
〃	吉岡 明彦	広 報 委 員 長	山本 一博
会 計	田中 一馬	ド ラ イ バ ー 委 員 長	杉井 恭敏
〃	小西 孝典	長 期 ヴ ィ ジ ョ ン 政 策 調 整 室 委 員 長	大野 嘉宏
Yサ・ユース 委 員 長	井上 彰		

◎活動報告2002年7月～2003年6月

7月	6月22日	次期役員キックオフ研修会 於 三条YMCA
	10日	第一例会 (定期総会) 第753回
	14日	サバエキャンプ場開設ワーク
	24日	第二例会 (納涼例会) 第754回 於 琵琶湖シシガン
8月	14日	第一例会 第755回 ゲストスピーカー 元日本区理事 森田恵三兄
	21日	IT講習会 (第1回) 於 大塚商会
	28日	第二例会 第756回 ゲストスピーカー 広畑ルカ氏
9月	28日	和敬学園地蔵盆
	1日	リトセン閉設ワーク
	11日	第一例会 第757回 ゲストスピーカー 京都学園大学経営学部助教授 堀池敏男氏
10月	23日	第7回京都部会 (第二例会振替) 第758回 於 みやこメッセ
	6日	第一例会 (リトセンファミリー例会) 第759回
	20日	ワイズポテト販売
	23日	第二例会 第760回 ゲストスピーカー 隠塚功ワイズ
11月	26日	金沢3クラブ合同例会参加
	30日	IT講習会 (第2回) 於 大塚商会
	3日	京都YMCA国際福祉専門学校学園祭
	10日	国際協力募金・京都部ワイズデー
12月	13日	第一例会 第761回 ゲストスピーカー 龍谷大学教授 坂井定雄氏
	17日	リトセンオータムフェスタ
	27日	第二例会 (EMC100人例会) 第762回 ゲストスピーカー 元サッカー国際審判員 小幡真一郎氏
12月	11日	第一例会 第763回 戸田昌伸京都部 部長公式訪問
	20日	京都YMCA会員クリスマスキャロリング
12月	21日	第二例会 (クリスマス例会) 第764回

1月	8日	第一例会 (新年例会) 第765回
	17日	京都YMCAニューイヤーチャリティコンサート 於 京都コンサートホール
	22日	第二例会 (半期総会) 第766回
2月	30日	献血 於 京都YMCA国際福祉専門学校
	12日	第一例会 第767回 ゲストスピーカー 土屋医院院長 土屋守氏
	15日	京都YMCA創立100周年会員集会 於 三条YMCA
	23日	全国車椅子駅伝 西京極・宝ヶ池
3月	26日	第二例会 (TOF例会) 第768回 於 三条YMCA
	28日～3月1日	EMC研修旅行 於 ホテル百万石
	9日	東京グリーンクラブ30周年記念式典参加
3月	9日	京都YMCA卒業リーダー祝会
	12日	第一例会 (トスファンド例会) 第769回
	26日	第二例会 (EMC120人例会) 第770回 ゲストスピーカー 元吉本興業常務取締役 木村正雄氏 於 プリンセス京都ホテル
4月	9日	第一例会 (花見例会) 第771回 於 木屋町浜町
	20日	リトセン夜桜フェスタ
	23日	第二例会 第772回 ゲストスピーカー 立命館大学経営学部助教授 石崎祥之氏
5月	14日	第一例会 第773回 ゲストスピーカー 立命館大学教授 岡尾恵一氏
	24日	金沢川クラブ10周年記念例会参加 於 金沢市・北間桜
	28日	第二例会 (西日本区大会アワー) 第774回
	30日	京都YMCA2003年度定期総会
6月	31日	和敬学園ポウリング大会 於 上賀茂MKボウル
	14～15日	第6回西日本区大会 (第一例会振替) 第775回 於 彦根市文化プラザ
	25日	第二例会 (引継例会) 第776回
6月	28日	次期役員キックオフ研修会 於 海老茶式部

6月/引継例会 鈴木会長から荒川会長へ

6月/新役員研修会

10月/IT講習会でパソコンに向かう真剣なメンバー

2月/EMC研修旅行 西日本区大会会場の百万石

4月/花見例会にて荒川メネット・為国メネットさんが舞妓さんに変身

6月/引継例会にて三役によるパフォーマンス



主題 クラブ “ピュア ハート”
 国際 “Be Agents of Change” 「変革の担い手となろう」
 アジア “New thinking, New action” 「新たな思考で新たな行動を」
 西日本 「未来にかけの橋」
 京都部 「ワイズの森を大樹の森に」



10月/リトセファミリー例会 ネットによるカントリーダンス



10月/例会 堤会長羽衣の天女に変身



11月/京都YMCA100周年記念フェスタ 於 みよこめっせ

ピュア ハート

第33期会長 堤 雄次



き継ぎ、又、更なる発展のために努力し、喜びを分かち合ひましょう。組織的に大きな変化はありません、ただ取り組む方法が、変化しているだけです。メンバーに不安や疑心をあたえているかもしれませんが、全員、ピュアなハートを持って、楽しく、短かったと思う1年間になりますように、皆様のご協力をお願いします。

第33期の会長を任命された、堤 雄次です。1年間よろしくお願いたします。33年という長い歴史を見返るときチャーターメンバーもいれば、ほんの少し前に、入会したメンバーもいます。年齢を見ても、親子ほどの差があるようになってきました。メンバーそれぞれのパレスにかかわるスタイルも、変化してきていると思います。

そこで、今期の方針と致しまして、ワイズ歴が長いメンバー（人生も含む）も、私達は今まで、色々やってきたので、新しいメンバーにと、仕事の転嫁をせず、また、新しいメンバーも、何も分からないからと、同上転嫁をせずに、メンバーすべてがワイズ活動を推進していきましょう。つまり、メンバー全員が物事に、新鮮な気持ち（こころ）を持って取り組んでほしいとおもいます。

パレスは、前期の荒川会長の時より、IT化を進めてきました。今期においても、引き続きIT化推進に取り組むたいとおもいます。時代の流れには皆で乗っていきましょう。「そんなことはしたこともないし、する必要もないので、ついていけないわー」などといわず、これはパレスが与えてくれたチャンスと、考えてみてはいかがでしょうか。新鮮なところでチャレンジしてください。厳しい時代に直面し、さまざまな変化の影響を受けながら、今日まで諸先輩方が築かれたパレスクラブの良き伝統を引

第33期 役員名簿

会 長	堤 雄次	EMC委員長	小西 孝典
次 期 会 長	小櫻 武彦	フ ァ ン ド 委 員 長	杉井 恭敏
直 前 会 長	荒川 徹	交 流 委 員 長	川上 孝司
副 会 長	山本 一博	広 報 委 員 長	山田 高弘
〃	森田美都子	ド ラ イ バ ー 委 員 長	井上 均
書 記	平野 雅幸	西日本区大会 準 備 委 員 長	荒川 徹
〃	河合 信也	連 絡 主 事	阿部 和博
会 計	西枝 攻	西日本区理事	大野 嘉宏
〃	岡見 紫	西 日 本 区 理 事 事 務 局 長	田中 一馬
Yサ・ユース 委 員 長	岡本 圭司	京 都 部 E M C 主 査	隠塚 功
地 域 奉 仕 委 員 長	三尾 啓		

◎活動報告2003年7月～2004年6月

7月	6月29日	次期役員キックオフ研修会 於 海老茶式部
	9日	第一例会 (定期総会) 第777回
	13日	サバエキャンプ場開設ワーク
	19日	第二例会 (納涼例会) 第778回 於 聖護院御殿荘
8月	9日	合同委員会 於 月見館
	28日	和敬学園地蔵盆
	31日	第8回京都部部会 (第一例会振替) 第779回 於 京都パークホテル
9月	10日	第一例会 第780回 ゲストスピーカー 高宮実子 氏
	24日	第二例会 (EMCアワー) 第781回 ゲストスピーカー 西日本区 EMC事業主任 岡本就介ワイズ・京都部 EMC主査 隠塚功ワイズ
	25～28日	アジアエリア大会 於 フィリピンマニラ市
	10月	5日
10月	11日	京都YMCA創立100周年式典 於 京都コンサートホール
	12日	ワイズポテト販売
	22日	第二例会 第783回 ゲストスピーカー 能楽師 井上裕久 氏
	11月	2日
11月	9日	京都YMCA国際協力街頭募金・ワイズデー
	12日	第一例会 第784回 ゲストスピーカー 話しことは検定 沢昭子 氏
	23日	京都YMCA100周年記念フェスタ 於 みよこめっせ
	23日	熱海クラブ40周年記念式典参加
	26日	第二例会 第785回 仁科保雄 京都部 部長公式訪問
	12月	10日
12月	19日	京都YMCA100周年クリスマスキャロルナイト 於 JR京都駅大階段
	20日	第二例会 (クリスマス例会) 第787回

1月	7日	第一例会 (新年例会) 第788回 於 南禅寺順正
	28日	第二例会 (半期総会) 第789回
	29日	献血 於 京都YMCA国際福祉専門学校
2月	1日	京都部ボウリング大会 於 松山ボウル
	14日	京都YMCA創立101周年記念集会 於 三条本館
	25日	第一例会 (TOF例会) 第790回 於 三条本館
3月	10日	第一例会 (トスファンD) 第791回
	14日	京都YMCA卒業リーダー祝会
	27日	第二例会 (花見例会) 第792回 於 清水日月庵
4月	14日	第一例会 第793回 ゲストスピーカー (株) おたべ顧問 酒井英一氏
	18日	リトセ夜桜フェスタ (新研修・宿泊棟 献堂式)
	28日	第二例会 (西日本区大会アワー) 第794回
5月	26日	第一例会 (西日本区大会アワー) 第795回
	28日	京都YMCA2003年度定期総会
6月	12～13日	第7回西日本区大会ホスト (第一例会 振替) 第796回 於 加賀山代温泉加賀市文化会館・ホテル百万石
	23日	第二例会 (引継例会) 第797回 於 祇園ラポー

6月/引継ぎ例会



7月/サバエワーク



10月/リトセファミリー例会



11月/例会 和敬奨学金贈呈



1月/献血



4月/川勝ワイズがリトセ新研修宿泊棟設計コンペで表彰



2004活動の記録／2004.7→2005.6

主題 クラブ “素晴らしき仲間達” Let's appreciate our brotherhood
 国際 “Let Your Light Shine” 「輝かせ あなたの光を」
 アジア “Love your neighbors as yourself” 「自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい」
 西日本 “Be Soul-Mates” -to work hand in hand “「皆な仲間」働こう!!
 京都部 「子供達に渡すべき未来」—今ワイズが出来ること—



11月/オータムフェスタ ベーゴマ回し



12月/台中エヴァーグリーンクラブ歓迎会



3月/第1回チャリティーラン実行委員長のチャックウィルソンさんも参加

素晴らしき仲間達

第34期会長 小櫻 武彦



員会であり、委員会をより充実したものにする為例会と同じレベルで委員会をもって頂きたいと思ひます、必要ならばクラブとしても応援いたします。心を求め、境地を得る、正にそういうクラブであればドロップアウトもなく、彼も彼女も誘ってやろうと思うに違いないのではないのでしょうか?この一年メンバー全員一人一人がクラブでも仕事でも輝きを増し、そして一人でも多くの仲間が増える一年になるよう努力しようではありませんか、メンバー全員のご協力を宜敷くお願い申し上げます。

第34期 役員名簿

会 長	小櫻 武彦	地域奉仕委員長	小西 孝典
次 期 会 長	為国 光俊	EMC委員長	山本 一博
直 前 会 長	堤 雄次	フ ァ ン ド 委 員 長	平井 久夫
副 会 長	河合 信也	交 流 委 員 長	森田美都子
〃	岡本 圭司	広 報 委 員 長	高田 敦
書 記	西枝 攻	ド ラ イ バ ー 委 員 長	安岡 忠男
〃	川勝 政男	京 都 部 Y サ ・ ユ ー ス 事 業 主 査	川上 孝司
会 計	別所 修	西 日 本 区 直 前 理 事	大野 嘉宏
〃	平野 雅幸	連 絡 主 事	阿部 和博
Yサ・ユース委員長	山本幸三郎		

図らずもパレス第34期の会長を受け、伝統ある京都パレスワイズメンズクラブを少しでも充実、発展させていくため、浅学非才、微力ではありますが誠心誠意努力する決意であります。

波瀾万丈とは行かないまでも33年間という歴史の中には紆余曲折色々の場面を経験してきました。ここ数年我がパレスクラブのメンバーの年齢差も一世代にもなっています、世代の乖離を乗り越え、器も中身も新しい時代へのターニングポイントへさしかかっていると思われれます。しかし乍ら過去に京都部会や日本区大会更には国際大会等をホストしサポートして成功させてきたパレスの底力は前期第7回西日本区大会を成功させた事実如実に現れ、今も若いメンバーに受け継がれているものと確信しています。長幼の序を弁え節度を重んじ乍らクラブの先輩後輩、人生の先輩後輩が忌憚なく議論し合ってメンバー一人一人が研鑽しそれがクラブ全体の質の向上に繋がる、これこそが理想的なクラブの姿ではないかと思ひます。メンバーが互いにもっと理解し合い評価し合えば更に強固なグループになり得ると思ひます。その意味で会長主題を“Let's appreciate our brotherhood.”「素晴らしき仲間達!」としました。お互いがより親しくクラブの事、仕事の事、人生の事を話し合える場、それは少人数の各委

◎活動報告2004年7月～2005年6月

7月	3日	次期役員キックオフ研修会 於 嵐山錦
	11日	サバエキャンプ場開設ワーク
	14日	第一例会(定期総会)第798回
	28日	第二例会(納涼例会)第799回 於 亀岡市楽々荘
8月	11日	第一例会 第800回 ゲストスピーカー 花園大学学長 西村恵信氏
	25日	委員会例会 於 三条YMCA
	27日	和敬学園地蔵盆
9月	8日	第一例会 第801回 ゲストスピーカー 神戸女子大学大学院文学研究科教授 中村隆文氏
	23日	第9回京都部会(第二例会振替) 第802回 於 ウェスティン都ホテル
	17日	第一例会(リトセンファミリー例会) 第803回 於 リトセン
10月	24日	ワイズポテト販売
	27日	第二例会 第804回 ゲストスピーカー 朝日放送プロデューサー 松本修氏
	7日	京都YMCA国際協力街頭募金・ワイズデー(第一例会振替) 第805回 於 新風館
11月	14日	リトセンオータムフェスタ
	24日	第二例会 第806回 ゲストスピーカー 菊の井当主 村田吉弘氏
	6日	台中クラブ歓迎会 於 花玄玄
12月	8日	第一例会 第807回 ゲストスピーカー 京都造形芸術大学副学長 尾崎博正氏
	17日	京都YMCA会員クリスマスキャロリング 於 新風館
	22日	第二例会(クリスマス例会) 第808回

1月	12日	第一例会(新年例会) 第809回 於 聖護院御殿荘
	26日	第二例会(半期総会) 第810回
	27日	献血 於 京都YMCA国際福祉専門学校
2月	9日	第一例会 第811回 渡邊公夫京都部部長公式訪問
	19～20日	東西日本区交流会 於 東山荘
3月	23日	第二例会(TOF例会) 第812回 ゲストスピーカー 田中一馬 ワイズ
	6日	第1回京都YMCAチャリティーラン 於 鴨川公園
	9日	第一例会 第813回 ゲストスピーカー 毛利ゆき子氏
4月	23日	委員会例会
	2日	第一例会(花見例会) 第814回 於 円山公園いもぼう
	17日	リトセン夜桜フェスタ
5月	27日	第二例会(トスファンD) 第815回
	7日～9日	台中エバグリーンクラブ訪問
	11日	第一例会 第816回 ゲストスピーカー 第16回アメリカ横断ウルトラクイズ 準優勝 大西肇氏(第一回)
6月	22日	和敬学園交流ボウリング大会 於 MKボウル
	25日	第二例会 第817回 ゲストスピーカー 第16回アメリカ横断ウルトラクイズ 準優勝 大西肇氏(第二回)
	28日	京都YMCA定期総会 於 三条YMCA
6月	28日	京都部リトセンチャリティゴルフコンペ 於 協和ゴルフ倶楽部
	11日～12日	第8回西日本区大会(第一例会振替) 第818回 於 神戸ポートピアホテル
	22日	第二例会(引継例会) 第819回

6月/引継例会 堤会長から小櫻会長へ

7月/納涼例会

11月/オータムフェスタ

5月/台中エヴァーグリーンクラブ訪問 記念植樹

5月/台中エヴァーグリーンクラブ訪問

6月/引継例会 東海林太郎に衣装した小櫻会長から為国会長へ



2005 活動の記録 / 2005.7→2006.6

主題 クラブ “視点を換えよう。自分たちのためのクラブライフ”
 国際 “Be Y’smen in Deed not Y’smen in Need” “求めるワイズから行動するワイズへ”
 アジア “Lead by your own Action” “行動するリーダーになろう”
 西日本 “GO Forward with Love and Courage” “すすめ 愛と勇気をもって—
 京都部 “旬” “Shun”



3月/35周年記念例会



3月/35周年記念例会



3月/35周年記念例会 為国会長の和太鼓“夜明け”

視点を換えよう。自分たちのためのクラブライフ



第35期会長 為国 光俊

はなく失敗からも多くのことを学ぶことができると思います。そして結果を掴んで自らのビジネスに役立てましょう。私たち一人ひとりが互いに学び、成長しあえることによってメンバー間の結びつきがより強固となり、魅力あるクラブになることを実感しましょう。自分たちのクラブであり続けるために。

新入メンバーが増えないのはなぜでしょうか。経済環境が厳しく時間や金銭的な制約が多いからでしょうか。人々の価値観が多様化し、クラブメンバーになることが若い世代の人達にとって格好良くないからでしょうか。

パレスクラブは今期、創立35周年を迎えようとしています。時代が移り変わる中でも、クラブの基盤を作り発展させてこられた先輩方のリーダーシップやクラブに対する情熱は計り知れないものがありますし、大いに敬意を表すものであります。もちろん、それによって現在のパレスがあることは間違いありません。と同時に一人ひとりのクラブに対する義務や権利は平等でありメンバーがより団結し、クラブライフをさらに豊かなものにしていくためには、事業活動を通じて、等しく汗を流し共に働く必要があります。参画することによって得られる個人の成長こそが、生活基盤であるビジネスの成功に結びつき、ひいては、クラブを大きなものにし、社会に貢献できる原動力となるのではないのでしょうか。

視点を換えましょう。価値観は変わるものです。クラブが活性化し、新たな人材を受け入れられるように環境を整えましょう。工夫してメリハリのある例会運営を心がけましょう。過去の慣例にとらわれることなく各事業の見直しと集中化を検討しましょう。クラブライフを通じて自分の可能性にチャレンジしましょう。成功だけで

第35期 役員名簿

会 長	為国 光俊	地 域 奉 仕 委 員 長	岡見 紫
次 期 会 長	井上 彰	EMC 委 員 長	三尾 啓
直 前 会 長	小櫻 武彦	フ ァ ン ド 委 員 長	吉岡 明彦
副 会 長	隠塚 功	交 流 委 員 長	高岡 昇
〃	田中 一馬	広 報 委 員 長	平野 雅幸
書 記	荒川 徹	ド ラ イ バ ー 委 員 長	西枝 攻
〃	平井千香子	西日本区監事	大野 嘉宏
会 計	谷口 武士	連 絡 主 事	阿部 和博
〃	井上 均	京 都 部 委 員 長	山本 一博
Yサ・ユース 委 員 長	平井 久夫	35周年委員長	河合 信也

◎活動報告2005年7月～2006年6月

7月	2日	次期役員キックオフ研修会 於 きよみず
	3日	サバエキャンプ場開設ワーク
	13日	第一例会 (定期総会) 第820回
	27日	第二例会 (納涼例会) 第821回 於 大津市坂本日吉山荘
8月	10日	第一例会 第822回 古田裕和 京都部 部長公式訪問
	24日	第二例会 第823回 ゲストスピーカー 占部弦楽器製作所代表 占部英明 氏
	26日	和敬学園地藏盆
9月	11日	第10回京都部部会 (第一例会振替) 第824回 於 全日空ホテル
	28日	第二例会 (月見例会) 第825回 於 妙心寺退蔵院
10月	16日	リトセンファミリー例会 (第一例会振 替) 第826回
	23日	ワイズポテト販売
	26日	第二例会 第827回 ゲストスピーカー 劇団四季社長 佐々木秀典 氏
	6日	京都YMCA国際協力街頭募金
11月	9日	第一例会 第828回ゲストスピーカー 和敬学園園長 樋口文昭、橋本憲一 氏
	12日～16日	ハワイセントラルYサービスクラブ訪問
	13日	リトセンオータムフェスタ
	23日	第二例会 (ファンド例会) 第829回 於 カーラ・ラガッツァ
	14日	第一例会 第830回 ゲストスピーカー 京都市立堀川高校校長 荒瀬克己 氏
12月	16日	京都YMCA会員クリスマスキャロリング
	21日	第二例会 (クリスマス例会) 第831回
	11日	第一例会 (新年例会) 第832回 於 洛翠荘
1月	25日	第二例会 (半期総会) 第833回
	26日	献血 於 京都YMCA国際福祉専門学校 (今出川YMCA)
	29日	京都部CSボウリング大会 於 しょうざんボウル

2月	8日	第一例会 第834回 ゲストスピーカー KBS京都ラジオ常務取締役 山崎弘士 氏
	18日	京都YMCA創立117年記念集会 於 三条YMCA
	22日	第二例会 (TOF例会) 第835回 於 今出川YMCA
3月	11日	創立35周年記念例会 (第一例会振替) 第836回 於 京都ホテルオークラハイ セントラルYサービスクラブとIBC締結
	12日	京都YMCAリーダー卒業祝会
4月	22日	第二例会 第837回 ゲストスピーカー 梁山泊亭主 橋本憲一 氏
	8日	第一例会 (花見例会) 第838回 於 ザ・リバーガーデンオリエンタル京都
	23日	リトセン夜桜フェスタ
	26日	第二例会 第839回 ゲストスピーカー 京都ウェストクラブ 高野忠男 ワイズ
5月	10日	第一例会 第840回 ゲストスピーカー ホテル日航プリンセス京都取締役 支配人 南恵美子 氏
	21日	京都YMCA第2回チャリティーラン 於 鴨川公園
	24日	第二例会 第841回 ゲストスピーカー オグルニエドールパティシエ 西原金蔵 氏
	26日	京都YMCA定期総会
6月	10日～11日	第9回西日本区大会 (第一例会振替) 第842回 於 名古屋国際会議場
	28日	第二例会 (引継例会) 第843回

7月/納涼例会



9月/月見例会 妙心寺



12月/餅つき 山岸ワイズ宅



3月/ハワイセントラルYサービスクラブIBC締結



5月/チャリティーラン



6月/西日本区大会



2006 活動の記録 / 2006.7→2007.6

主題 クラブ 「さらなるクラブ活性化のために」
 国際 “Active Participation with Love” 「愛をもって積極参加」
 アジア “Participation and Inspiration” 「参画、そして感動を！」
 西日本 “One for all, all for one” 「ひとりみんなのために、みんなは一人のために」
 京都部 「百花繚乱 一京都部一」



11月/リトセン オータムフェスタ



11月/リトセン 綱引き



1月/チャリティーボウリング大会

さらなるクラブ活性化のために

第36期会長 井上 彰



で、メンバーの皆さんよろしくお願いたします。

いろいろな社会的変化を受けながら、パレスクラブは35年もの歴史を作ってきました。価値観も年齢も異なるメンバーが奉仕活動をしています。今期「さらなるクラブ活性化のために」という標語を設定し、クラブの運営に取り組んでいきたいと思っています。

そもそもクラブの活性化とはクラブメンバーひとりひとりが高い意識を持ち、例会や奉仕事業に取り組むことなのです。全ての行動をクラブに、と言うことは出来るはずありませんが、個人が今より少し価値観を上げていただければ、クラブは確実に活性化されるはずです。Y'sの本質を理解するようなオリエンテーション等の事業を継続的に行うことが必要になってきます。奉仕クラブの枠組みがあるために大きな改革は出来ませんが、ひとりひとりの自己研鑽によってクラブの活性化がうまれます。

メンバーのコミュニケーションも重要です。お酒を飲みながらの親睦もひとつの方法ですが、いろんな意見を交わして、自己の人生観、価値観を話すことも特に必要なことだと思うのです。少しでも高い意識を持って例会、奉仕事業への参加をすることがクラブの活性化につながります。

「私も参加しますから、メンバーの皆さん いっしょに参加しましょう」の思いでこの一年間努力しますの

第36期 役員名簿

会 長	井上 彰	Yサ・ユース委員長	吉岡 明彦
次期会長	川上 孝司	地域奉仕委員長	田宮 慎治
直前会長	為国 光俊	EMC委員長	杉井 恭敏
副 会 長	西川 寿一	フ ァ ン ド 委 員 長	高田 敦
〃	平井 久夫	交 流 委 員 長	小西 孝典
書 記	堤 雄次	広 報 委 員 長	森田美都子
〃	平野 雅幸	ド ラ イ バ ー 委 員 長	田中 一馬
会 計	小林 千春	連 絡 主 事	阿部 和博
〃	山本 一博	財 務 委 員 長	西枝 攻

◎活動報告2006年7月～2007年6月

7月	1日	次期役員キックオフ研修会 於 弥栄会館
	2日	サバエキャンプ場開設ワーク
	12日	第一例会(定期総会) 第844回
	26日	第二例会(納涼例会) 第845回 於 上七軒歌舞練場
8月	3～6日	第68回国際大会 於 釜山
	9日	第一例会 第846回 ゲストスピーカー 集花園 谷奥秀男 氏
	23日	第二例会 第847回 大槻信二 京都部 部長公式訪問
	25日	和敬学園地蔵盆
9月	10日	第11回京都部部会(第一例会振替) 第848回 於 琵琶湖ホテル
	27日	第二例会 第849回 ゲストスピーカー 九条病院理事長 松井道宣 氏
10月	8日	第37回全国YMCAリーダー研修会
	11日	第一例会 第850回 ゲストスピーカー 株式会社マルハン会長 韓昌裕 氏
	14～15日	東京グリーンクラブ神田川船の会交流会
	22日	ワイズポテト販売
	25日	第二例会 第851回 ゲストスピーカー 同志社大学法学部教授 村田晃嗣
	29日	和敬学園サツマイモ収穫会
11月	5日	京都YMCA国際協力街頭募金
	12日	リトセンオータムフェスタ(第一例会振替) 第852回
	17日	京都部ワイズデー HIV・AIDSワーク ショップ 於 三条YMCA
	22日	第二例会(トスファンド例会) 第853回 於 白沙村荘
12月	13日	第一例会第854回 ゲストスピーカー グリーンテック株式会社取締役会長 山田浩典 氏
	16日	京都YMCA会員クリスマスキャロリング
	20日	第二例会(クリスマス例会) 第855回

1月	10日	第一例会(新年例会) 第856回 於 嵐山良弥
	21日	第4回京都部CSボウリング大会 於 しょうざんボウル
	24日	献血 於 京都YMCA国際福祉専門学校(今出川青少年センター)
	24日	第二例会(半期総会) 第857回
2月	14日	第一例会 第858回 ゲストスピーカー 隠塚功 ワイズ
	23日	京都YMCA創立118周年記念集会 於 三条YMCA
	28日	第二例会(TOF例会) 第859回 ゲストスピーカー 高田敏尚 ワイズ 於YMCA
3月	11日	京都YMCA卒業リーダー祝会
	14日	第一例会(EMCアワー) 第860回 メンバースピーチ
	28日	第二例会 第861回 ゲストスピーカー 木村隆 氏
4月	7日	第一例会(花見例会) 第862回 於 セブンツー
	20～22日	仁川済物捕クラブ40周年記念例会訪問
	22日	リトセン夜桜フェスタ
	26日	第二例会 第863回 ゲストスピーカー 石井浩一 氏
5月	9日	第一例会 第864回 ゲストスピーカー 下坂大司 ワイズ
	20日	第3回京都YMCAチャリティーラン 於 鴨川公園
	23日	第二例会 第865回 ゲストスピーカー 弁護士 川端伸也 氏
	26日	京都YMCA定期総会 於 三条YMCA
6月	9～10日	第10回西日本区大会(第一例会振替) 第866回 於 大阪松下IMPホール
	27日	第二例会(引継例会) 第867回

6月/引継ぎ例会 為国会長から井上彰会長



10月/神田川船の会交流会



10月/例会 ゲストスピーカー村田晃嗣氏



4月/仁川済物捕クラブ40周年記念例会参加



4月/リトセン 夜桜フェスタ



5月/チャリティーラン コスチューム賞



2007 活動の記録 / 2007.7→2008.6

主題 クラブ “Hand in Hand” The earliest mankind on earth had music with energy, hand in hand.
 国際 “Service Without Borders” 「国境なき奉仕」
 アジア “Service Without Borders” 「国境なき奉仕」
 西日本 “Let's move forward with conviction” 「確信を持って前進しよう」
 京都部 「京都部 555を目指してYと共に更なる飛躍を！」



7月/納涼例会 神埼総主事参加



10月/ワイズポテト販売



ハワイセントラルサービスクラブへ訪問

“Hand in Hand”手を取り合って The earliest of mankind on earth had music with energy,

第37期会長 川上 孝司



この言葉は、20年ほど前に私が人生の歩む上でひとつの道しるべとして作ったものです。「この地上に生まれた最初の人類は地球の大自然と向かい合い、地球の鼓動を感じながら生きていた」といった想いです。私たちは常に大自然の中に生かされています。実はもうひとつ忘れてはいけないものがあります。それは私たちをとり巻く人と人との関わり合いです。その総てのものとのHand in Handを考えたいのです。現在私たちは、大自然という途轍もない大きな環境と、人と人が関わる社会環境の中にいます。そこではさまざまな考え方、性格の違い、異なる欲求等を持った人との係わり合いをもって共に生きています。私たちは、共に助け合い、共に楽しみ、共に幸せを感じたいと、いつでも思っています。こういった環境を作っていこうとすると、一人では成しえません。すばらしい考えや、正しいものの考え方を持った、より多くの人と人々が「手を取りあい」、優しい心配りを持って交流することで、初めて実現するのではないのでしょうか。この地球上で私たちワイズメンズクラブの仲間の輪は、ほんの小さな輪に過ぎませんが、確かに、人々の心をも動かす力を持っています。この力でもっと大きな輪を作り、私たちの地球の環境そして、私たちをとりまく社会環境を見つめ、よりすばらしいものにして行こうではありませんか。

第37期 役員名簿

会 長	川上 孝司	Yサ・ユース委員長	岡見 紫
次 期 会 長	田中 一馬	地域奉仕・環境委員長	西村 道隆
直 前 会 長	井上 彰	EMC委員長	大野 嘉宏
副 会 長	河合 信也	フアンド委員長	福井 将一
〃	別所 修	交流委員長	笹山 直世
書 記	川勝 政男	広報委員長	隠塚 功
〃	安達 雅直	ドライバーク委員長	永井 孝
会 計	小桜 武彦	連絡主事	阿部 和博
〃	下坂 大司		

◎活動報告2007年7月～2008年6月

7月	1日	サバエキャンプ場開設ワーク
	7日	次期役員キックオフ研修会 於 ハンドインハンドホール
	11日	第一例会 (定期総会) 第868回
	25日	第二例会 (納涼例会) 第869回 於 琵琶湖大津館
8月	4日	新潟県中越沖地震緊急支援街頭募金 於 四条河原町
	8日	第一例会 第870回 ゲストスピーカー 日本熊森協会代表 森山まり子 氏
	22日	第二例会 第871回 ゲストスピーカー 株式会社ゴールドスリータナカ 代表取締役 斉藤博 氏
	25日	和敬学園地蔵盆
9月	9日	第12回京都部会 (第一例会振替) 第872回 於 ウェスティン都ホテル京都
	26日	第二例会第873回 ゲストスピーカー 株式会社本家尾張屋 代表取締役 稲岡傳左衛門 氏
10月	10日	第一例会 (ダンス例会) 第874回 講師金澤典子ワイズ (ウエストクラブ) 於 マリアージュ玉姫殿
	14日	ワイズポテト販売
	26日	第二例会 第875回 ゲストスピーカー 京都大学大学院理科研究科教授 片山一 道 氏
11月	3日	京都YMCA国際協力街頭募金
	11日	オータムフェスタ (第一例会振替) 第876回 ワイズデー
	28日	第二例会 (トスファンダ例会) 第877回
12月	12日	第一例会 第878回 ゲストスピーカー パリトン歌手 篠原良三 氏
	14日	京都YMCA会員クリスマス・キャロリング
	19日	第二例会 (クリスマス例会) 第879回

1月	9日	第一例会 (新年例会) 第880回 於 百千足館
	23日	第二例会 (半期総会) 第881回
	24日	献血 於 京都YMCA国際福祉専門学校
2月	27日	京都部CSチャリティーボウリング大会 於 しょうざんボウル
	13日	第一例会 第882回 (メンバースピーチ)
	15日～17日	台中エバーグリーンクラブ訪問
	17日	京都部HIV/AIDSワークショップ
3月	22日	京都YMCA創立119年会員集会
	27日	第二例会 (TOF例会) 第883回 於 YMCA
	2日	東京グリーンクラブ創立35周年・神田川 船の会発足30周年記念会
	9日	京都YMCAリーダー卒業祝会
4月	12日	第一例会 (5クラブ合同例会) 第884回 ゲストスピーカー写真家 松本紀生 氏
	20日	今出川京都YMCA閉館式
	26日	第二例会 第885回 ゲストスピーカー 俳優 栗塚旭 氏
	5日	第一例会 (花見例会) 第886回 於 高台寺洗心寮
5月	20日	リトセン夜桜フェスタ
	23日	第二例会 第887回 ゲストスピーカー 落語 笑福亭猿笑
	10日～11日	ファイアースайдキャンプ (男磨きの会) 於 リトセン
	14日	第一例会 第888回 ゲストスピーカー 参議院議員 福山哲郎
6月	18日	京都YMCAチャリティーラン 於 鴨川公園
	28日	第二例会 第889回 ゲストスピーカー 堀場製作所社長 堀場厚 氏
	30日	京都YMCA定期会員総会 於 三条YMCA
	14日～15日	第11回西日本区大会 (第一例会振替) 第890回 於 奈良100年会館
25日	第二例会 (引継例会) 第891回	

6月/引継ぎ例会 井上彰会長から川上会長

7月/サバエ開設ワーク

7月/納涼例会

1月/新年例会 川上会長夫婦の掛け合い漫才

5月/ファイアースайдキャンプ (男磨きの会)

5月/第二例会 ゲストスピーカー堀場厚氏



2008 活動の記録 / 2008.7→2009.6

主題 クラブ 「楽しく、正しく、仲良く」～40周年へ向けてホップの年～
 国際 “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
 アジア “Be the light of Hope” 「希望の灯となろう」
 西日本 “思いやりを持ってワイズライフを!” —わかち合いは微笑みをもって—
 京都部 意識をもって活動に参画しよう! —555実現に向けて—



9月/京都部会 パフォーマンス



10月/東京グリーンクラブ来訪



10月/献血感謝状

「楽しく、正しく、仲良く」

第38期会長 田中 一馬



そして、これら3つの指針はバランスよく保たれる必要があります。楽しいだけならただの遊びになります。正しいだけなら孤立します。仲良いだけならただの慣れ合いです。すべての指針がバランスよく保たれてこそ適度な緊張感がありながらなぜか居心地のいい空間になります。ベテランも新人も老いも若きもみんなが自由闊達に活動できる場をめざして、また迫りくる40周年にむけてホップの年となるように1年間頑張っていきたいと思えます。みなさんよろしくお願いたします。

今期のパレスクラブは「楽しく、正しく、仲良く」やっていきたいと考えています。38年目を迎えるパレスクラブは、前年の37期に10名もの新入会員を獲得し、大きな盛り上がりを見せています。その雰囲気を持しつつ更にクラブが飛躍するためには、あるひとつの方向性に着目するよりも、バランスの良い運営を心掛けるべきと考えこの主題を設定しました。例会や役員会はもちろんのこと、さまざまな奉仕活動やワークなどの事業運営、さらにはクラブの人間関係においてもこの3つの指針に基づいて考え、活動していこうと思っております。

「楽しく」…やはりクラブ活動は楽しくなければいけません。楽しいところには人がたくさん集まります。メンバーのモチベーションの維持にも、新人の獲得にも「楽しさ」は不可欠な要素です。「正しく」…何が本当に正しいかということを見出すのは容易ではありませんし、見方によっても正しさは変わります。クラブにとってもメンバーにとってもどうすれば正しい運営になるのかをよく考え行動していきたいと思えます。「仲良く」…他人と仲良くすることにはエネルギーが必要です。意見が少々食い違っても相手の立場で物事を考えることができれば馬の合わない相手でも仲良くできます。そのことはやがてとてつもない人間関係を築くことになり、その結果クラブの発展に大きく寄与します。

第38期 役員名簿

会 長	田中 一馬	Y・サ・ユース委員長	平野 雅幸
次期会長	隠塚 功	地域奉仕・環境委員長	吉楽 貴之
直前会長	川上 孝司	EMC委員長	福井 将一
副 会 長	隠塚 功	フ ァ ン ド 委 員 長	野口 大輔
〃	小林 千春	交 流 委 員 長	吉岡 明彦
書 記	久貝 哲也	広 報 委 員 長	西枝 攻
〃	為国 光俊	ド ラ イ バ ー 委 員 長	堤 雄次
会 計	安達 雅直	連 絡 主 事	阿部 和博
〃	山本 一博		

◎活動報告2008年7月～2009年6月

7月	5日	次期役員キックオフ研修会 於 きよみず
	6日	サバエキャンプ場開設ワーク
	9日	第一例会 (定期総会) 第892回
	23日	第二例会 第893回 メンバースピーチ
8月	7日	和敬学園生会社訪問
	9日	第一例会 (納涼例会) 第894回 於 洛雲荘
	23日	和敬学園地蔵盆
9月	14日	第13回京都部会 (第一例会振替) 第896回 於 京都グランヴィアホテル
	20～21日	サバエキャンプ場60周年記念事業
	24日	第二例会 第897回 ゲストスピーカー ワコールホールディングス 桂一郎 氏
	8日	第一例会 第898回 ゲストスピーカー NPO法人テラ・ルネッサンス代表 鬼丸昌也 氏
10月	19日	ワイズポテト販売
	22日	第二例会 (京都ウエル・トゥービー・パレス3クラブ合同例会) 第899回 於 京都全日空ホテルゲストスピーカー 株式会社新大阪ステーションストア 監査役 仲津英治 氏
	22～23日	東京グリーンクラブ来訪
	2日	京都YMCA国際協力街頭募金
	16日	オータムフェスタ (第一例会振替) 第900回
11月	26日	第二例会 第901回 ゲストスピーカー 京都市総合企画局地球温暖化対策室 課長 宇高史昭 氏
	10日	第一例会 第902回 ゲストスピーカー 株式会社日本サルベージサービス代表 取締役 大崎康弘 氏
12月	19日	京都YMCA会員クリスマス・キャロリング
	23日	第二例会 (クリスマス例会) 第903回

1月	14日	第一例会 (新年例会) 第904回 於 くに荘
	28日	第二例会 (半期総会) 第905回
2月	8日	京都部CSチャリティーボウリング大会 於 しょうざんボウル
	11日	第一例会 第906回 ゲストスピーカー 京都大学アメリカンフットボール部総監督 水野禰一 氏
	14日	京都YMCA創立120周年記念集会 於 聖アグネス教会・平安会館
3月	23～24日	熱海クラブ訪問
	25日	第二例会 (TOF例会) 第907回 於 三条YMCA
	1日	第二回京都部ワイズデー ロールバック マラリヤ 於 三条YMCA
4月	8日	第一例会 (花見例会) 第910回 於 鮎鶴
	17～19日	台中エバーグリーンクラブ来訪
	19日	夜桜フェスタ
	22日	第二例会 (準備委員会例会) 第911回
5月	13日	第一例会 第912回 ゲストスピーカー 空手糸東流第3回世界大会チャンピオン 坂栄孝 氏
	17日	京都YMCAチャリティーラン 於 鴨川公園
	27日	第二例会 第913回 メンバースピーチ
6月	30日	京都YMCA定期会員総会 於 三条YMCA
	6日～7日	第12回西日本区大会 (第一例会振替) 第914回 於 熊本市市民会館・ホテル日航 熊本
	9日	献血 於 イオンモール京都ハナ
	24日	第二例会 (引継例会) 第915回

7月/サバエ開設ワーク



8月/和敬学園生会社訪問



8月/納涼例会



4月/台中エバーグリーンクラブ来訪



5月/チャリティーラン



6月/引継例会 田中会長から隠塚会長



主題 クラブ 「感謝(Thank you)の念を持って、しっかりとした基盤づくりを!」～40周年へステップの年～
 国際 “The Power of One” 「一つとなる力」
 アジア “Dreaming Asia, Loving Asia” 「夢見るアジア、愛するアジア」
 西日本 “すべてのいのちを大切に” —いのち・平和・環境—
 京都部 豊かな心 熱き思い —555実現に向けて—



11月/国際協力街頭募金



11月/オータムフェスタ



3月/リーダー卒業祝会

抱負

パレスクラブは来期40周年を迎えます。今期は38年間に渡って築かれた土台を更に強固なものとし、40周年に向けては「必ずみ」を付ける1年にしていきたいと考えています。その上で私たちが認識しなくてはならないことは、「感謝」の気持です。諸先輩方や仲間はもちろん、メネットやコメットなど、あらゆる人々への感謝の念が必要であり、そのことを意識して活動できる1年にしたいのです。そのために、まずは例会や委員会の充実です。例会だけでなく委員会、全てのクラブ事業への積極的参加を促し、一層のメンバー間交流が深まるように努めます。またHAを特別例会に集約することでメネットやコメットの参加しやすい土壌作りに努めます。さらに、各事業を見直すことでワイズメンズクラブ国際協会に所属していることを実感できるようにし、事業目的を認識した活動ができるようにしたいと考えています。1年間、皆様のご協力、宜しくお願いします。

第39期会長 隠塚 功



第39期 役員名簿

会 長	隠塚 功	交流委員長	森田美都子
副 会 長	山本 一博	フ ァ ン ド 委 員 長	川上 孝司
〃	岡見 紫	広 報 委 員 長	高田 敦
書 記	河合 信也	ド ラ イ バ ー 委 員 長	西枝 攻
〃	人見 晃弘	4 0 周 年 実 行 委 員 長	為国 光俊
会 計	杉本 泰造	直 前 会 長	田中 一馬
〃	小林 千春	次 期 会 長	山本 一博
Yサ・ユース 委 員 長	西川 寿一	京 都 部 主 査	平野 雅幸
地 域 奉 仕・ 環 境 委 員 長	川勝 政男	Y M C A 担 当 主 事	阿部 和博
EMC委員長	小西 孝典	メ ー ル 委 員	隠塚 功

◎活動報告2009年7月～2010年6月

7月	6月27日	次期役員キックオフ研修会 於 下鴨寮
	5日	サバエキャンプ場開設ワーク
	8日	第一例会(定期総会)第916回
	22日	第二例会 第917回
8月	8日	第一例会(納涼例会)第918回 於 SARUE
	22日	和敬学園地蔵盆
	26日	第二例会 第919回 ゲストスピーカー 京セラ(株) 執行役員教育本部長 高津正紀 氏
	30日	第39期自己研鑽パレスホスピタリティー交換会 於 リトリートセンター
9月	13日	第14回京都部部会(第一例会振替) 第920回 於 京都全日空ホテル
	23日	第二例会 第921回 “40周年事業に向けて” 於 YMCA三条本館
10月	14日	第一例会 第922回 ゲストスピーカー 京都国立博物館館長 佐々木丞平 氏
	18日	ワイズポテト販売
	24日	神田川船の会30周年記念祝賀会
	28日	第二例会 第923回 ゲストスピーカー YMCAボランティアリーダー4名 桜井卓弥・鈴木将樹・川高綾菜・湯沢保奈美さん
11月	1日	ワイズデー・国際協力街頭募金
	11日	第一例会 第924回 山中将平 京都部 部長公式訪問
	15日	リトセンオータムフェスタ
12月	25日	第二例会 第925回 ゲストスピーカー ストッキ・アルベルト氏
	9日	第一例会 第926回 ゲストスピーカー 京都工芸繊維大学学長 江島義道 氏
12月	18日	京都YMCA会員クリスマスキャロリング
	23日	第二例会(クリスマス例会) 第927回

1月	16日	第一例会(キャピタルクラブとの合同新年例会) 第928回 於 ホテル日航プリンセス京都
	24日	京都部チャリティーボウリング大会 於 しょうざんボウル
	27日	第二例会(半期総会) 第929回
2月	10日	第一例会第930回 ゲストスピーカー 奈良大学教授 上野誠 氏
	13日	京都YMCA創立121周年会員集会 於 YMCA三条本館
	24日	第二例会(TOF例会) 第931回 於 三条YMCA
3月	10日	第一例会 第932回 ゲストスピーカー 元京セラ会長 西口泰夫 氏
	14日	京都YMCA卒業リーダー祝会
	21日	京都部リトセンチャリティーゴルフ大会 於 ベアズパウジャパンCC
	24日	第二例会(トスファンド例会) 第933回
4月	10日	第一例会(花見例会) 第934回 於 京新山
	13日	献血 於 イオンモール京都ハナ
	18日	第11回リトセン夜桜フェスタ
	28日	第二例会 第935回 ゲストスピーカー 一級建築士 長谷川渉 氏
	7～9日	台中エヴァーグリーンクラブ35周年記念式典
5月	12日	第一例会 第936回 メンバースピーチ
	16日	第6回京都YMCAチャリティーラン 於 鴨川公園
	26日	第二例会 第937回 ゲストスピーカー 和歌守・冷泉家家元 冷泉貴美子 氏
6月	29日	京都YMCA定期会員総会 於 三条YMCA
	12日～13日	第13回西日本区大会(第一例会振替) 第938回 於 広島国際会議場
	23日	第二例会(引継ぎ例会) 第939回

7月/サバエ開設ワーク 植樹



8月/納涼例会 ウクレレ同好会



8月/和敬学園地蔵盆



4月/夜桜フェスタ



5月/チャリティーラン



6月/引継ぎ例会 隠塚会長の市会演説



主題 クラブ 一致団結 ～パレス100名を目指して～
 国際 “Once More We Stand” 「心新たに立ち上がろう」
 アジア “Realization of World Peace through Y’s Activities” 「世界平和をワイズの手で」
 西日本 「飛翔たとうワイズスピリットを胸に」～泰然自若の精神で～
 京都部 「ワイズにビジョンを、思いやりと共に」～世界のワイズが輪になって～



8月/和敬学園地蔵盆



3月/東日本大震災



4月/東日本大震災義援金505万円京都YMCAに贈呈

一致団結～パレス100名を目指して～

第40期会長 **山本 一博**



実現されるものと信じています。

2011年4月には40周年記念例会を成功させ、心地良い疲労と大きな達成感に浸りたいと願ってやみません。目標が大きく乗り越える壁が高いほど、パレスクラブの本当の実力が発揮されるものと思います。この上ない感動をメンバー全員で分かち合うために全力で取り組んで参りましょう。ご支援下さいとは申しません。もちろん私も頑張りますが会員全員の努力が必要です。さあ一緒に始めましょう！よろしくお願い致します。

40周年を迎える今期の主題を「一致団結」、副題を「パレス100名を目指して」としました。会員増強を最大のテーマとするクラブが多い中、この副題のインパクトは思いの外大きく、京都部の各クラブはもとより西日本区でも大変な注目を集めています。パレスが本気なら実現してしまうのではないか？という期待が半分、ちょっと言い過ぎと違うか？という心配が半分といったところでしょうか。

さて、この40期のターゲットは、その人数目標もさることながら、実はクラブを活性化し、より魅力的なクラブとして発展させるための取り組みであるという事を、期首にあたり再確認しておきたいと思えます。会員1人1人を成長させる道場としてのパレス、様々な仲間を得る社交場としてのパレス、社会貢献を实践する窓口としてのパレス、さらには新しい価値観を受け入れ自己変革しながら成長し続けるパレスクラブの一員である事を、より強く実感し、感動を届け、仲間を増やして行きましょう。

第40期は全ての事業、様々な会議、会合から普段の飲み会に至るまで、あらゆる機会を通じて話し合い、皆で理解を深め、そして具体的な会員増強に向けた行動に繋げて参りたいと思えます。メンバー全員がそうした思いの下に「一致団結」した時、必ずと100名の目標は

第40期 役員名簿

会 長	山本 一博	EMC委員長	為国 光俊
副 会 長	平野 雅幸	交 流 委 員 長	吉岡 高幸
〃	野口 大輔	フ ァ ン ド 委 員 長	人見 晃弘
書 記	小林 千春	広 報 委 員 長	吉岡 幸次
〃	藤松 幸一	ド ラ イ バ ー 委 員 長	塚本 優子
会 計	安達 雅直	4 0 周 年 実 行 委 員 長	為国 光俊
〃	大森 夏彦	直 前 会 長	隠塚 功
Y・サ・ユース 委 員 長	金村 孝一	次 期 会 長	森田美都子
地 域 奉 仕 ・ 環 境 委 員 長	福井 将一	Y M C A 担 当 主 事	阿部 和博

◎活動報告2010年7月～2011年6月

7月	6月30日	次期役員キックオフ研修会 於 清水屋
	4日	サバエキャンプ場開設ワーク
	14日	第一例会(定期総会)第940回
	16～18日	マニラダウンタウンクラブ60周年記念例会参加
	26日	和敬学園生パレス会社訪問
8月	28日	第二例会(納涼例会)第941回 於 琵琶湖シガナボネ船上
	29～30日	ノースウエストYサービスクラブフィリップス一家歓迎会 於 きらら
	5～8日	第69回国際大会 於 パシフィコ横浜
	5日	宮本隼史ワイズ昇天
	7日	ハワイセントラルYサービスクラブとノースウエストYサービスクラブとのトライアングルIBC締結 於 パシフィコ横浜
	11日	第一例会 第942回 ゲストスピーカー 公益社 山本好一 ワイズ
	20日	植田学ワイズ昇天
9月	22日	和敬学園地蔵盆
	25日	第二例会 第943回 ゲストスピーカー(株)ハッピー 橋本英夫 社長
	12日	第15回京都部部会(第一例会振替)第944回 於 京都リーガロイヤルホテル
10月	22日	第二例会 第945回 ゲストスピーカー 慶応義塾大学講師 竹田恒泰 氏
	13日	第一例会 第946回 坂田民明 京都部 部長公式訪問
	17日	ワイズポテト販売
11月	27日	第二例会 第947回 ゲストスピーカー 劇団前進座 嵐芳三郎 氏
	3日	ワイズデー 於 梅小路公園
	7日	国際協力街頭募金
	10日	第一例会 第948回 ゲストスピーカー FM京都アルファーステーション しもぐち雅充 氏
	14日	リトセンオータムフェスタ
6月	24日	第二例会 第949回 ゲストスピーカー 染織作家 田畑喜八 氏

12月	8日	第一例会 第950回 新人メンバースピーチ
	17日	京都YMCA会員クリスマスキャロリング
	23日	第二例会(クリスマス例会)第951回
1月	12日	第一例会(新年例会)第952回 於 順正
	26日	第二例会(半期総会)第953回
2月	6日	京都部チャリティーボウリング大会 於 しょうざんボウル
	9日	第一例会 第954回 トスファンド
	19日	京都YMCA創立122周年会員集会 於 YMCA三条本館
3月	23日	第二例会(TOF例会)第955回 於 YMCA
	6日	京都部リトセンチャリティーゴルフ大会 於 滋賀カントリー倶楽部
	9日	第一例会 第956回 新人メンバースピーチ
	11日	東日本大震災
4月	13日	京都YMCA卒業リーダー祝会 於 YMCA
	23日	第二例会(臨時総会)第957回
	12日	献血 於 イオンモールハナ
	16日	第一例会(40周年特別例会)第958回 於 京都ホテルオークラ フィリピンマニラダウンタウンクラブと東京グリーンクラブとのトライアングルIBC締結
	17日	第11回リトセン夜桜フェスタ
5月	27日	第二例会 第959回 新人メンバースピーチ
	14日	第一例会(新緑例会)第960回 於 雄山荘
	22日	京都YMCAチャリティーラン 於 鴨川公園
6月	25日	第二例会 第961回 ゲストスピーカー 西日本区理事(株)仁科旗 金具製作所 代表 仁科保雄 氏
	28日	京都YMCA定期会員総会
	11～12日	第14回西日本区大会(第一例会振替)第962回 於 ウェスティン都ホテル京都
	22日	第二例会(引継ぎ例会)第963回

7月/サバエワーク



8月/横浜国際大会にてトライアングルIBC締結



8月/横浜国際大会



2月/チャリティーボウリング大会優勝



4月/40周年記念例会



6月/第14回西日本区大会にて最優秀クラブ賞受賞



主題 クラブ “It goes on”～弛まざる進歩を続けよう、親睦という母の懷に抱かれて～
 国際 “Audere est Facere -To dare is to do”[とにかくやろう成せば成る]
 アジア “Audere est Facere -To dare is to do”[とにかくやろう成せば成る]
 西日本 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」
 京都部 「志を共有し、小さな一歩大きな前進」～思いやりと感謝の気持ちで粘り強く～



10月/月見例会



12月/クリスマス例会



1月/チャリティーボウリング大会

“It goes on”

～弛まざる進歩を続けよう、親睦という母の懷に抱かれて～

第41期会長 **森田 美都子**



負とさせていただきます。

今期、会長を拝命するにあたりこの言葉に全ての思いを託しました。今や日本一のメンバー数を有する勢いで突き進んでいるパレスクラブ。培ってきた会員増強のhow toを存分に駆使し、今期も決してその手綱を弛めることなく目標に向かって益々の進歩を続けようではありませんか。そして入会すればそこには必ず温かな心と母の懷、つまりメンバーの親睦という交流が待っています。老若男女、新人、ベテランメンバーのコラボファミリーがかつて知り得なかった新しい境地へと誘うパワーが生まれる事を教えてくれるでしょう。そんなクラブを確立し楽しみながら共に意義あるワイズライフを満喫したいのです。

秒読みに入った周年式典の直前に起こった未曾有の東日本大震災。苦渋の決断で中止した40期の行事を41周年記念式典として来年4月に渾身の思いで開催決定となりました。何よりも私にとっては想定外の事の流れとなりましたが大きな喜びとして真摯に受け止めその日に望みたいと思います。みなさんの気持が一（いつ）となり熱い情熱で成功させましょう。

41年目の初の女性会長に任命下さいましたパレスクラブメンバーの皆様へ感謝します。皆様のご協力を仰ぎつつ明るく華やかな期にしたいと今心から祈ります。伏して一年間お導き頂くことを切にお願い申し上げます。

第41期 役員名簿

会 長	森田美都子	交 流 委 員 長	平野 雅幸
副 会 長	為国 光俊	フ ァ ン ド 委 員 長	東畑 泰弘
〃	小西 孝典	広 報 委 員 長	蒲生 泰人
書 記	河合 信也	ド ラ イ バ ー 委 員 長	高岡 昇
〃	千賀 修	記 念 例 会 P T 委 員 長	為国 光俊
会 計	西枝 攻	直 前 会 長	山本 一博
〃	桧山 政宏	次 期 会 長	川勝 政男
Yサ・ユース委 員 長	小櫻 武彦	Y M C A 担 当 主 事	阿部 和博
地 域 奉 仕 ・ 環 境 委 員 長	藤松 幸一	京 都 部 地 域 奉 仕 ・ 環 境 主 査	堤 雄次
EMC 委 員 長	小林 千春		

◎活動報告2011年7月～2012年6月

7月	1日	次期役員キックオフ研修会 於 瑞雲庵
	3日	サバエキャンプ場開設ワーク
	13日	第一例会 (定期総会) 第964回
	27日	第二例会 第965回 ゲストスピーカー (株)一文字屋興三郎代表 森本千恵美 氏
	28日	和敬学園生社会見学
8月	4～7日	アジア大会 於 台湾
	10日	第一例会 (納涼例会) 第966回 於 しょうざん千寿閣
	24日	第二例会 第967回 前登 京都部 部長 公式訪問
	28日	和敬学園地蔵盆
9月	11日	第16回京都部部会 (第一例会振替) 第968回 於 福知山三段池公園総合体育館
	17日	39期・40期会EMC研修会 於 リトリートセンター
	28日	第二例会 第969回 ゲストスピーカー オフィスタかむら代表 高村俊雄 氏
	10月	1～2日
10月	9日	京都部合同ネット会 於 京都ロイヤルホテル
	12日	第一例会 (月見例会) 第970回 於 京都洛東迎賓館
	16日	ワイズポテト販売
	26日	第二例会 第971回 ゲストスピーカー 社団法人京都府薬剤師会 木島早苗 氏
	11月	6日
11月	9日	第一例会 第972回 新人メンバースピーチ
	23日	リトセンオータムフェスタ
	23日	第二例会 第973回 ゲストスピーカー 前外務省特命全権大使 田邊隆一 氏
12月	14日	第一例会 第974回 ゲストスピーカー サントリー (株) 奥水精一 氏
	16日	京都YMCA会員クリスマスキャロリング
	23日	第二例会 (クリスマス例会) 第975回

1月	11日	第一例会 (新年例会) 第976回 於 京都白河院	
	25日	第二例会 (半期総会) 第977回	
	29日	CSチャリティーボウリング大会 於 しょうざんボウル	
2月	8日	第一例会 第978回 ゲストスピーカー 大蔵流狂言師 茂山七五三 氏	
	9～12日	香港九龍クラブ訪問	
	18日	京都YMCA創立123周年会員集会 於 三条本館	
2月	22日	第二例会 (TOF例会) 第979回 於 三条本館	
	3月	11日	京都YMCA卒業リーダー祝会 於 三条本館
	14日	第一例会 第980回 新人メンバースピーチ	
3月	18日	リトセンチャリティーゴルフ大会 於 センチュリーシガゴルフクラブ	
	28日	第二例会 (ファンド例会) 第981回	
	4月	10日	献血 於 イオンモール京都ハナ
4月	11日	第一例会 第982回 40+1 記念例会準備例会	
	21日	IBC・DBC市内観光・歓迎前夜祭	
	22日	第二例会 (40周年+1記念例会) 第983回 於 京都ホテルオークラ	
5月	12日	第一例会 (新緑例会) 第984回 於 くに荘	
	20日	京都YMCAかもがわチャリティーラン 於 鴨川公園	
5月	23日	第二例会 第985回 ゲストスピーカー 歯科医師 嶋村清次氏	
	6月	9日～10日	第15回西日本区大会 (第一例会振替) 第986回 於 滋賀県立文化産業交流会館
6月	27日	第二例会 (引継例会) 第987回	

7月/サバエキャンプ場開設ワーク



7月/和敬学園生社会見学



9月/39期・40期会EMC研修会



3月/ファンド例会



6月/西日本区大会にて西日本区初の2回連続最優秀クラブ賞受賞



6月/引継例会 森田会長ドロンジョに変身





第4代西副区理事就任 (1996年7月～1997年6月)

西川 寿一

1996年6月六甲研修センターに於いて第2回西副区大会が開催され、その席上で第3代西副区理事の鈴木浩之ワイズ(名古屋東海クラブ)よりバトンを受け第4代西副区理事に就任いたしました。この副区制度についてその経緯を少し説明しておきます。

1987年以前より問われていた問題がありました。それは日本区理事・書記・会計・各事業主任等の方々が、北海道から九州まで日本中のクラブを訪問するのに時間と経費の負担が大きい事と、当時1000人を超す日本区大会を開催する会場が大都市に限られてきて、一部の地域しか開催できなくなっている事、そして日本のワイズの将来を見据えた時日本区を東・西に分割して、互いに刺激し合い競争する事が日本全体のワイズの発展に繋がるという大きな観点から、1987年6月の日本区代議員会に於いて、日本区分割を検討する委員会を設置する事が決定された。

1991年1月日本区役員会に於いて、当時のワンステップ委員会が提出した東・西日本区に分割する前の段階として、日本区に副区を設けて至急に発足させる事が承認され、いよいよ東・西区誕生に向けて第一歩を踏み出した。

1994年6月第1回西副区大会を熊本市市民会館で開催し、初代西副区理事に灰谷隅夫ワイズ(大阪土佐堀)が就任された。それ以降1年毎に日本区大会と東・西副区大会が交互に1997年6月迄4年間開催される事になった。

1996年新リジョン(区)設立委員会は現行の東・西副区を東・西日本区とする事を決定し、日本区役員会で承認される。1997年1月1日の日本区の現勢は86クラブ、3267名(東副区1289名・西副区1978名)の会員を擁していた。

1997年6月第50回日本区大会を愛知芸術文化センター(名古屋市)に於いて1250名の参加のもとで開催され、第4代副区理事として1年間の活動報告をした。この大会が日本区として最後の大会となり、4年間続いた東・西副区も

次年度から東・西日本区としてスタートする事になった。

第4代副区理事としての活動は主に次年度(1997年7月)から始まる西日本区の発足準備委員会の委員長として、西日本区事務所の設置・西日本区組織の変更・西日本区旗の製作等西日本区がスムーズにスタートできるように様々な事を検討した。西日本区事務所については、日本のワイズの発祥の地である大阪の土佐堀YMCA内に設置する事とした。また西日本区組織については、ワイズの発展はリーダーを育てる事が必要であるという観点から、事業主任を6人から8人に増やす事とした。

私が副区理事の就任の要請を第3代副区理事の鈴木浩之ワイズ(名古屋東海クラブ)から受けた時、微力な私を支えてもらえる強力なメンバーがいないととても大役は勤まらないと思い、早速当時の第24代会長の永井孝ワイズと当時の書記の鈴木俊一ワイズに、それぞれ西副区の会計と書記をお願いしたところ、快く引き受けて頂き副区理事の就任の決心がついたのでありました。この任期の1年間は当初副区理事は日本区理事と違って余り仕事は無いと聞いていたのですが、いざ始まってみるとたまたま私の期は西日本区の発足の準備があり、大変忙しい1年間でした。忙しい1年間であったが西副区の各地のワイズを訪問する時は永井・鈴木ワイズと一緒に車中はいろいろな話で盛り上がり、長旅の疲れをほとんど感じない事もあり、また各地のワイズメンとの交流が出来楽しい有意義な1年間でありました。

常に人との対応を上手くされる円転滑脱な永井孝会計と英語が堪能で雄弁家で博学多才な鈴木俊一ワイズにはいろいろな場面で助けて頂き、お二人の協力がなかったらとても大役は全うする事ができなかったと思います。お二人には本当に感謝しております。

(詳しくはパレスものがたりに掲載されています。)



第7代西日本区理事に就任して 忘れられない加賀の西日本区大会

大野 嘉宏

西日本区理事になってくれませんか、数人の方が訪れてくれたとき、正直全く引き受ける気は全くなく、即座にお断りしたことを覚えています。ワイズ入会以来、区役員は色々やらせてもらいました。BF代表として一ヶ月間、アメリカのワイズメンズクラブも見せてもらいましたし、何時かは、区理事をやらなければならないという使命感は持っていたのですが…

当時の私は、入会以来欠席したことのない西日本区大会にも何回か欠席するという、過去の私には考えられないワイズに対する意欲喪失の時期で、ワイズ燃え尽き症候群だったかと思います。それでも、余りにも熱心な説得に心が動きだし、使命感が甦り、第7代西日本区理事を引き受けることになりました。

西日本区理事は一人でやれる役ではなく、自分のクラブの絶大な協力がなければ到底不可能な役です。今だから笑って言えますが、この点が一番の心配でした。幸い強力な事務局長、区役員にも恵まれ、着々と準備にかかったのですが、西日本区理事の権限と責任で決める、その理事年度のハイライト、西日本区大会開催地を、2年前には決定しなければいけないという問題に悩みました。

京都でやることは、当たり前だし、過去何度も開催されてきて、新鮮さを出すことが難しく、イベント企画好きの私にとっては、他の場所で、という挑戦心が湧いてきました。ある日仕事で北陸 山代温泉を走っている時、ふと「ホテル百万石」と「加賀文化会館」に出会って、正に神の引き合わせと思いました。あの巨大広間で浴衣での大宴会を

やろうと考えたのです。この遠い会場の提案に驚き、当然ことながらクラブでは、喧々譁々の意見交換もありましたが、最後には承認してくれたパレスの面々には、その後の準備、プログラム、宣伝そして当日の大会ホストとして、コホストの金沢のクラブの皆さんと共に、大変なご苦勞をお掛けしたお蔭様で、大会は大成功に終わることが出来ました。

今でも色々な人から「あの大会は、良かった」とお褒めの言葉をいただきますが、あの時のパレスの全スタッフの能力と行動は、生涯忘れることは出来ません。あの大会の成功が、私のワイズ生活を取り戻してくれたのです。40プラス1記念例会も久々に会の企画をさせてもらい、皆と楽しく成功させることができたことは、大きな喜びでした。パレスクラブの活躍を通して、すべてのクラブが活性化するように、若い会員と共に頑張りたく思います。

西日本区大会実行委員会

西日本区大会実行委員長	渋谷洋太郎(金沢)
西日本区大会準備委員長	荒川 徹(京都パレス)
総務委員長	為国 光俊()
プログラム委員長	川上 孝司()
登録委員長	杉本 泰造()
広報委員長	井上 均()
会計	河合 信也()
ホームページ	山本 一博()

ワイズメンズクラブ国際協会

第7回西日本区大会

YMCAの拡がりを願って

「ワイズパワーアップ」地域にワイズの働きを

日 時：2004年6月12日(土)・13日(日)

会 場：加賀市文化会館 宿 泊：加賀山代温泉 ホテル百万石

大会ホストクラブ：金沢ワイズメンズクラブ・金沢犀川ワイズメンズクラブ

京都パレスワイズメンズクラブ

出席者：約850名

平成16年6月12日13日、およそ1年半にわたり準備され、無事終わる事ができた西日本区大会、走馬灯のように思い出される事ばかりです。

今大会において正式にプログラム委員会を結成したのは昨年6月下旬でした。大会のコンセプトとして全員の思いは「感動ある大会」この事をプログラム細部に盛り込みディスカッションを繰り返し行ってきました。感動というのはどこから生まれてくるのか？私の考えはこうでした。ひとつのドキュメントドラマの中にはたくさんの感動がある、大野西日本区理事と言う人物のこの一年のドラマの集約として大会を演出すれば、必ず人の心に響くだろう。

そのあたりからオープニングの各部長、クラブ会長の登場の仕方、大野氏がみんなに労をねぎらって、握手をするシーン、ビジュアル的にアプローチにスロープをつけ、ステージに躍動感をつける。バックスクリーンに白い布を使い複雑にまくりつけた白い布から生まれるシルエットを利用するなど、いろいろアイデアが生まれてきました。つぎに大野理事のドラマに音楽がないと大野さんじゃない、と言うのが私の思いでした。しかし、誰をどこで登場させ、何を唄ってもらおうか？この事に行き詰まっている時日本YMCA同盟100周年記念式典が東京で行われ、私もプログラム参考の為に、と参加しました。そこですばらしいシンガーに出会ったのです。バイオリンをバックにピアノをひき、唄い語る歌姫、久米小百合さんとの衝撃的な出会いでした。「彼女に大会で歌ってもらいたい」ステージを終えた彼女と交渉、大会に来てもらうことにしました。ここだけの話ですが、

実はこの時、私は彼女が異邦人を歌っていた久保田早紀とは全く知りませんでした。こうして久米小百合さんをプログラムに入れる事で大会の大筋が決まっていたのです。その後彼女の歌う異邦人とメネットの作った絵本を絡めるアイデアも生まれてきました。大会式典時のスクリーンと久米小百合さんのミニコンサート時のスクリーンが全く違う二枚のスクリーンを使用していた事に気が付かれた方はいらっしゃいますか？実は照明効果と、スクリーンの忠実度を上げる為に二枚のスクリーンを前後につり、場面場面で使い分けをしていたのです。他にも奈良傳賞の授賞式をいかに感動的に行うかも、ひとひねりありました。各事業表彰においても同じ思いがありました。式典進行をスムーズ、かつ、格式高く行う為に森田さんを中心にプログラム委員のメネットによるエスコートをお願いしました。

あらゆる場面にみんなの思いを取り入れひとつのコンセプトの下、作り上げていったプログラム、大変な作業ではありましたが、とても意義のある一年でした。皆さん本当にお疲れさまでした。

プログラム委員長 川上孝司



総合司会 隠塚ワイズ、和沢さん



演奏前の岡見ワイズ



美人揃いのレセプタント 誰だか分かりますか
左から小西メネット、川上メネット、隠塚メネット、森田ワイズ

- ①② 黒のポロシャツで統一登録担当のメン・メネット
- ③ 饗応のワイズソング斉唱
- ④ 奏楽：岡見ワイズ(京都パレス)
- ⑤ 歓迎の挨拶：数沢ワイズ(金沢)





うけました！
西日本区大会プロモーション映像のヒトコマ



“何を考えるか”
今は亡き宮本ワイス (プログラム副委員長)



くつろぐ大野ご夫妻



感激のフィナーレ
左から青木ワイス・浅見ワイス (東京グリーン)・大野ワイス

- ①大会実行委員長渋谷ワイス (金沢) の閉会挨拶
- ②お見送りに立つパレスメンバー
- ③出席者が一堂に会しての大宴会 (ホテル百万石兼六の間)
- ④お目見えしました 千両役者!
- ⑤金沢・金沢犀川・京都パレス 63名よく頑張りました



①



②



③



④



⑤

- ①②迫力十分 西日本区理事
大野ワイス (京都パレス)
- ③インタビューに答える大野ワイス
- ④理事引継式
- ⑤次期理事 柴田ワイスへバッチの装着



①



②



③



④



⑤

パレスものがたり

語り部

パレス太郎
パレス次郎

Palace Story

これは、2007年10月号～
2008年12月号にて
ブリテン誌上で連載されたものを
まとめたものです。

はじめに

第37期広報委員長 隠塚功

皆さん、パレスクラブは何年にチャーターしたか知っていますか？

今期川上会長が37期会長であることから1971年であることはわかってもらえますね。

でも、パレスクラブのスポンサークラブが京都クラブで、パレスクラブがスポンサーであるクラブが5つもあることを知っているメンバーも少ないのではないのでしょうか？

それもそのはず。30周年でパレスクラブが京都部会をホストしたことを

知らないメンバーが半数近くになっていますし、西日本区大会をホストしたことも知らないメンバーが全体の2割にもなっているのです。

37期広報委員会では、こうした現状を踏まえ、パレスクラブの歴史を紐解くことを考えました。面白くて読みやすいパレスの歴史を太郎・次郎さんに執筆をお願いしました。パレスの歴史がよくわかると思います。ぜひ楽しみに読みきってください。

第1話「パレス誕生！」

パレスクラブ草創期の事を語るには、先ず、キーメンバーの大野ワイズ、西川ワイズ、お二人の京都クラブ入会から始めなければならない。

1967(昭和42)年当時、京都のワイズメンズクラブは、京都クラブと福知山クラブの2クラブだけでありました。その中で京都クラブの会員は15名、平均年齢55歳、ほとんどの会員がクリスチャンでした。例会場は旧三条本館。食事は質素な弁当とお寿司。例会のプログラムは聖書朗読と勉強、YMCA活動のミーティングがほとんどで、そして祈りに始まり祈りに終わる、そんな京都クラブに1967(昭和42)年、期待と情熱を抱えて27才の大野ワイズ、西川ワイズが入会したのであります。YMCAの持つ国際活動の参加、新しい友人との出会いを求めての入会でした。

しかし若い時から積極的で辣腕な大野ワイズには、静かな京都クラブのカラーが合うはずが無い。西川ワ

イズは温和で辛抱強いのでいいのだが、大野ワイズが例会を時々スリープするようになってくる。入るところを間違った…。

普通ならここで退会と云うのが世の常であります。そこに人の運と云うものが二人のコンビにあった。戦後の京都YMCA史のなかで最も画期的な出来事のひとつに、1970(昭和45)年7月に烏丸今出川下るに青少年センターの竣工をみたことであります。そうなれば、青少年センターをサポートするワイズメンズクラブが必要になり、そこで白羽の矢が立ったのが、



スリープ勝ちな大野ワイズと、辛抱強い西川ワイズの二人の若いコンビでありました。心の広い京都クラブのメンバーから二人に、新しいクラブを好きなように作るようにと託されたのです。

ワイズ暦3年を満たず、まったく手探りの状況でのスタートで、新クラブ作りはまるで闇夜のカラスを見るようでありましたが、二人に与えられたのは正に天の為す所であった。そうならば二人の若いコンビは水を得た魚の如く生き生きと活動を始め、先ずは会員獲得のため当時の友人から友人へクラブ入会の勧誘に若いエネルギーを放出したのです。チャーターメンバーの宮本ワイズは、大野ワイズが結婚披露宴で出会い、朗々と話をうたう宮本ワイズに注目、心こめて口説き、宮本ワイズが入会された。

当初の例会場は青少年センターに持たれ、クラブ名は活動の拠点が京都御所に近いところから、パレス(宮殿)と命名されました。

親睦を大切にすることをモットーに、1971(昭和46)年3月14日、チャーターナイトが京都国際ホテルでおこなわれました。平均年齢27才、日本区一番若い会員の揃ったクラブの誕生でありました。当時のワイズメンズクラブでは、飛び切り若い28名のチャーターメンバーを見て、賛否両論、京都の派手なぼんぼんの集まりでYMCAなんか目も向いていない、いやこれから日本区に革新を起こすと議論風発、喧しいことであったが、その後のパレスクラブの活動に誰しもが称賛する事となりました。日本区43番目に誕生したパレスクラブのチャーターナイトでパレスとメネットは「ハネムーンから帰ったばかりのカップル」のように澁刺としていたと区報に記されていた。今、パレスの歩みを語る時、37年間パレスクラ

ブを支えて来られた大野ワイズ、西川ワイズ、宮本ワイズご三家にあらためて敬意を表するものであります。

「パレス太郎」

第2話「涙・なみだの出会いと別れ」

パレスクラブの歴史を振り返る時、一人のすばらしい人との出会いを忘れることはできない。1971(昭和46)年にパレスクラブは発足したものの、メンバーは、ワイズとは一体何なのか、奉仕とはどういうことをすればいいのか等々、誰しもが一度はぶつかるこの壁に突き当たり悩んでいた。そんな折、大野ワイズが東京グリーンクラブのチャーターナイトに出席した。1973(昭和48)年3月のことである。大野ワイズは、このチャーターナイトにて、中央大学法学部の小堀憲介教授の講演を聞き、深い感銘を受け、その講演のテープをパレスへ持ち帰ってくれた。これが、パレスクラブと奉仕クラブ理論である「小堀理論」との出会いである。「小堀理論」はメンバーに明確な方向づけと勇気を与えてくれ

たのみならず、パレスクラブの運営の基本、即ちバイブルとなり、今日迄脈々と受け継がれることとなった。

そして、1978(昭和53)年6月10日～11日、京都グランドホテル(現リーガロイヤルホテル京都)に於いて第33回日本区大会をホストしたときには、チャーター以来パレスクラブが大切に育ててきた親睦のパワーが最大限に生かされた。日本のワイズが誕生して50年目の記念すべき大会は、海外からのゲストを加えて参加人数900名を越す日本区大会史上最大の規模(これまでは600名程度)の大会となった。大野大会実行委員長を中心に、クラブ全員がこの大会に向けて心一つになり、大会の成功に向けて準備をした。何よりも思いやりの心を持って参加者をお迎えしようということを基本姿勢として、従来のカラーとは少し変わった企画を立てた。メンバー全員による全クラブ専任担当制の採用、京都府警音楽隊演奏によるバナーセレモニー(これは当時の参加者を驚嘆させた)、古典芸能と近代音楽とを対照的に取り入れたディナーパーティー等、新しい企画が多く取り入れられた。その中の一



つに、その時のプログラムのサイズ(ポケットに入るサイズ)は、現在でも多くの大会に採用されている。また、登録・宿泊担当では、800余名の部屋割りをしなければならず、一部屋に2~3人ずつ割り当てるのだが、カップルはツインベッド、ファミリーは一部屋、メンは同じクラブ同士といろいろ気を使い、その上大会直前まで急遽参加・キャンセル等があり、ネームタグの最終チェックや部屋割りを決めるのに大会前日は徹夜状態となった。

いろいろな苦労があったこの日本区大会を終え、参加された多くのメンバーから「本当によかった」「すばらしい大会でした」と称賛の声をかけられた瞬間、メンバー全員が言い知れぬ感激と喜び、そして異常なまでの虚脱感、加えて蓄積した疲労感などが入り混じって全員涙、なみだ…。この光景を目の当たりにされていた人物、パレス誕生からずっとパレスを我が息子のように温かく見守っていただいた第10代日本区理事岩越重雄ワイズは「パレスのみんなは本当によくやりよった。みんな部屋に集まって肩を抱き合って大泣きしておった」と後日談で話されていた。

900名を超える史上空前の日本区大会を、クラブのメン、メネット全員が、燃え上がる情熱を完全燃焼して成功させた事によってメンバーとしての意識が向上し、クラブの団結力が強まり、チャーターして7年目のクラブを更に発展させる大きな力となったものの、パレスクラブは日本区大会ホスト成功の感激の余韻に浸る間もなかった。むしろ、ワイズメンズクラブは拡大、エクステンションをしなければならないという使命感に駆られ、第9代宮本会長に、チャーター以来初



めて子クラブであるウエストクラブを誕生させたのである。

ウエストクラブチャーターの前年である1979(昭和54)年3月の次期役員会において、10周年事業企画委員会が設置され、10周年事業の一環として新クラブを設立することとなった。新クラブ設立の基本方針の主な内容は「1. 長岡 YMCA の地元西山地区の地域性に適合した奉仕を支援する為、心身共に長岡 YMCA に密着し協力しうるクラブを設立する。2. クラブ名は京都ウエストクラブ。3. チャーターナイトはゾロ目ラッキーデーの1980(昭和55)年5月5日とする」というものであった。また、拡大委員長に森田恵三ワイズ(現ウエストクラブ)、設立準備委員長に岡本尚男ワイズ(現キャピタルクラブ)が任命された。

ウエストクラブのチャーターは、パレスクラブの第2期発展期の入口となったといえる。当時の宮本会長の言葉によると「ワイズメンズクラブ発展の為とはいえ、10名のキーメンバーをパレスクラブから送り出した事は私にとっては断腸の思いであった」と述べられている。また、森田恵三ワイズによれば「パレスに身をおいて足掛け9年、いかに多くの友を得、いか

に多くを学び得たことか、語るにつけない楽しい思い出があまりにも多きがためにパレスへの惜別の念が深まる一方、その一抹の寂寞とした感情を打ち払う如く、未知なる新クラブに挑戦する決意をもって起立した私でした」と述べられている様に、移籍を決断したメンバーも送り出すパレスのメンバーも、そこまでもエクステンションをしなければならないのかという寂しい思いがあり、捨てがたいパレスの愛着の情を胸に秘めた新クラブの誕生であった。

「パレス次郎」

第3話 「今年で10年、はずんで燃えよう！」

数知れぬ多くの人々に支えられ、クラブ入会する前は全く見ず知らずの人との出会いにより互いに親睦を計り、自己研鑽をし、人としての真実を求め、ワイズメンとしての誇りをちょっと自覚し始めた10年目、この一つの節目を単なる懐古的な記念日や一つの通過点とすることなく、新しい課題・新しい10年に向かってのキックオフの年にすべきとした当時のメンバーの心意気は、10周年記念事業企画委

員会を設ける等増々パワーを発揮する活力のあるクラブとして発展してきた。

日本区大会において最優秀クラブ賞を受賞し創設当時28名であったメンバー数も、第9代宮本会長(1979(昭和54)年7月~1980(昭和55)年6月)には、1980(昭和55)年6月に西中ワイズ、10月に杉本ワイズが入会され総勢70名になり、日本区において東の熱海(当時メンバー数80名)、西のパレスといわれるくらいに拡大発展した。

10周年記念事業企画委員会は宮本会長に発足し、2年間に亘り、以下のような多くの記念事業を計画実行した。

- ① 1979(昭和54)年7月 京都 YMCA サバエキャンプ場に手造りのキャンピングを建設し、寄贈。
- ② 1980(昭和55)年5月 京都ウエストクラブをチャーター。
- ③ 1980(昭和55)年10月 リトセンにバーベキューセットを作り、寄贈。
- ④ 京都 YMCA 三条本館(1980(昭和55)年2月開館)の建設資金として、3年間(1979(昭和54)年~1981(昭和56)年)で500万円を寄贈。
- ⑤ 1981(昭和56)年3月 10周年記念例会を開催。
- ⑥ 10周年記念誌発行。
- ⑦ パレスビジョンミーティングを開催。3月14日に因んで、“限りなきπ

のひろがり”をテーマにした10周年記念例会は、1981(昭和56)年3月14日~15日にかけて、比叡山国際観光ホテルにおいて、まるでミニ日本区大会のようにホテルを貸し切って1泊2日で開催された。

来賓として、いまは亡き第10代日本区理事岩越重雄ワイズや、第50代国際会長鈴木謙介ワイズ、そしてブラザークラブである台中エバーグリーンの張英傑ワイズも参加され、出席者291名というその当時としては部会に匹敵するほどの多くのメンバーに参加していただいた。

1日目は式典を行い、夜は楽しい企画のディナーパーティーのあと、遅くまでダンスや音楽で楽しい夜を過ごした。2日目は記念講演として、京都銀行専務取締役の奥村光林さんをお招きし“これからのワイズメンに期待する”をテーマとして、企業家として又クリスチャンとしての大変興味深いお話を聞いた。そのあと“京都におけるワイズの展開”と題してディスカッションが行われ、5人のメンバーから発題された。特に、北村寿朗ワイズ(現グローバルクラブ)は、京都市内各区に一クラブを目標とし、3年後に3クラブを新しく作り、メンバー数を300名(当時京都には150名)にす



る333(スリースリー)作戦と名付けて展開してはどうかと提案され、この提案がきっかけとなって、2年後の1983(昭和58)年に、めいぶる、キャピタルクラブ同時チャーターという偉業が達成されたのである。

また、パレスビジョンミーティングで話し合われたことは、まずパレスクラブの基本的な理念・クラブとは何かについて、“親睦の内に、すばらしい人間を創るための愛に基づく自己研鑽の場である”と捉えて行こう、そしてその為に、

- ① 友情と信頼を築く努力。
- ② クラブを道場として、自分への厳しさを持つこと。
- ③ 行動の原点は人に対する愛(思いやり)であるという認識。
- ④ クラブに対して自分は何をしているかを問う謙虚な姿勢。
- ⑤ クラブの内なるステイタスに誇りを持つこと。
- ⑥ YMCA への理解と協調を実践して行こう。



これらのことを通して常に自分とクラブとを対決させる中で、良質の職業人、すばらしい人間への自己研鑽を果たしていく。このミーティングで話し合われたことが、以後のパレスクラブの発展、そして京都におけるワイズの発展に大きく寄与したことは否めない事実である。

この10周年記念例会を経験した70名のメンバーの内、他クラブへ移籍したり退会されたりして、現在活躍されているメンバーは大野、杉本、西川、西中、宮本各ワイズの5名となり、時が経つにつれて当時のパレスクラブの古き良き時代を知っているメンバーが少なくなってきたことは大変寂しい感がある。

「パレス次郎」

第4話 「めいぶる・キャピタルクラブ誕生」

まさにワイズの申し子と云える活動で覇を積んできたパレスクラブは、12年目(1982(昭和57)年)にメンバー数は93名に達し、名実とも日本一のクラブと言われるようになりました。ホリディインの例会場は人で溢れ、熱気に満ちておりました。

そんな状況の時に会長に成ったのが、入会7年目、40才の大槻ワイズであります。多くの先輩を三段も四段も飛び越えての抜擢で、当時のパレスクラブにはそんな気概がありました(大槻ワイズはパレス会長を終えて日本区EMC事業主任、グローバルを立ち上げ京都部部长になり、西日本区理事就任前に残念ながら夭逝された。非常に優秀な人物でした)。大槻ワイズが言い出したのが、「こんなにメンバーが多くなって来ると会長な

んか80年に一回だし、委員長に選ばれるのも稀であり、こんなではワイズで学ぶべきリーダーシップが修学出来ない」、「また、ワイズに入っている意味が無い」と迄言い出し、「すぐさまエクステンションをすべきである」と声を大にして会長声明を出した。そうなればパレスの歴代会長の理解と動きは早い。早速にビジョン委員会が持たれ、パレスクラブは2クラブ同時チャーターという世界のワイズ初めてのエクステンションに挑戦すると答申案が出された。

みんな若いからすぐ燃え上がる。すぐさまパレスクラブエースの大野ワイズが設立準備委員長に就かれた。PT委員会もウエストクラブ設立経験メンバーや、より選ばれた新人を含めて手馴れた手順で進んでいった。ただ、このパレスクラブにとって非常に大事な時の副会長は、エクステンション言い出しの大槻会長が頑固なまでの真面目人間らしさを発揮して、パレスの歴代会長が誰も指名しなかった「屁理屈を言わしたら天下第一品のY君とH君の二人」を指名した。喜んだのは二人であります。永らく出席を待っていたご両人の屁理屈が役員会で始まりました。H君なんかは必ず遅れて来てミニボトルを5本は呑みながら役員会での発言ですから、最後はよれよれで11時が来ても終わらない。屁理屈家の面目躍如であります。

さて、そんな二人がPT委員会へ意気洋洋とクラブ副会長として出席。例のごとくPT委員会では屁理屈を言い出したが、言う相手が悪かった、相手は一枚も二枚も上手である。設立準備委員長大野ワイズが、二人にとうとう退室命令を出した。凄い迫力で、ご両人はすごすごと部屋を出

て行きました。それほどPT委員会は熱が入っていたのです。しかし、二人の副会長はしたたかで、相変わらぬの屁理屈が役員会で続いておりました。今となってはお笑いですが、当時のパレスクラブにはそんな蛮行も許す大らかさがあったのです。

様々な余談を残してPT委員会は進んで行きました。二クラブは北地域と南地域に分けられ、自発的に手を上げたメンバー以外は委員会からの指名で、何々君、君は北へ行ってくれ、南に行ってくれとの厳しい指名でありました。指名されたメンバーはパレスに愛着を残しつつ、ワイズメンズクラブ発展のため耐え忍んでの転出でした。特に、めいぶるクラブ初代会長になった戸田ワイズは、次期パレス会長に指名されていたが、ワイズはエクステンションすべきであるとの信条から、敢えてパレスの会長指名を捨てたのは皆の驚きでありました。奇しくも宮本ワイズの会長時の副会長が、戸田ワイズでありキャピタル初代会長の堀ワイズで有ったのは、宮本ワイズの薫陶が良かったからかな…。

2クラブの設立総会は1983(昭和58)年6月26日(日)京都YMCA三条本館で開かれました。設立準備委員長の大野ワイズからの経過報告では、パレスから移籍は37名。それぞれのクラブが40名のメンバーを持ってスタートと希望のある報告がありました。チャーターナイトの会場も色々考えられたが、スタンドグラスの美しい烏丸通りのKBSホールに決まりました。

1983(昭和58)年11月27日(日)536名が一堂に集まりました。実行委員長は木村ワイズ(15代会長で面白い話題あり)、司会は副委員長の

宮本ワイズで、出席者のみなさんが、宮本ワイズの苦心のナレーションを聞いてプロと間違った、との楽しい思い出があります。81名のメンバーがそれぞれ紹介され、万感を込めてパレスメンバー・メネットが一人一人にバッチ着装を行いました。

第二部の司会は采野ワイズ(うねやん)と西川ワイズ。うねやん(10代会長。テネシーシャンティボーイズのバンドマスター)と西川ワイズは、コンビぴったりでまことに楽しい進行で大いに盛り上がりました。チャーターナイト見せ場・KBSホールのスタンドグラスをめぐらした壁面のカーテンが、齋藤英美先生のエレクトーンにより天地創造の調べでオープン、感動の一瞬でした。乾杯のスピーチがまた面白く、当時次期西日本区理事に指名されていた野村ワイズ「大野嘉宏と掛けて何と解く。排卵誘発剤と解く。」と、ジョーク溢れる乾杯で、ワイズのトップになる人物はジョークが上手いといつくづく感じいったものでした。今の大野ワイズは歳を重ねても衰えぬその精悍さから、歩く〇〇器と言われてますけれど…。

最後に、木村実行委員長から「池に投じた一石の波の拡がりの如く、今後もワイズの発展に邁進する」との力強い挨拶が述べられた。最後に「今日の日はサヨウナラ」の大合唱で名残を惜しみつつフィナーレに、感動の収まらないパレス・めいぶる・キャピタルの面々が、大野ワイズ・木村ワイズを彼方此方で胴あげ、若い情熱を発散させてお開きとなりました。

「パレス太郎」

第5話 「こんな面白い? 会長の時もありました」

ワイズの魔力に取り付かれたパレスクラブは、見事に世界初の2クラブ同時チャーターを成し遂げました。チャーターナイトの最後の演台で「池に投じた一石の波の拡がりの如く、今後もパレスクラブはワイズ発展に邁進する」と、力強く興起な挨拶を残した実行委員長のK君がその功績を認められて、入会して10年目、51才でようやくパレス15代会長に選ばれた。

お仕事は京都東山の名門神社の権宮司で、閑あり、金あり、高い地位あり、話が上手い。神に仕える身であります。俗っぽく、祇園、先斗町を夜な夜な徘徊するお人でありました。チャーターナイト実行委員長ときは上にワイズの千軍万馬の面々が居り、その為か人の意見を良く聞き、遵守な面がありましたが、会長になりますと高い地位の人にありがちな、人の意見を全く聞かぬようになりました。三役会でいろいろもめて皆の決めた事を一応賛成しますが、役員会では平然と自分の意見を通す。そんな事が2度3度重なり三役さんも切れてしまうと、自らが臨時役員会を招集、神社のお座敷でお膳にお酒つきの臨時役員会であります。なんやかんやと三役さんの厳しい意見や、時には怒鳴られても馬耳東風、暖簾にすね押し、蛙に〇便、〇〇屋に屁と、泰然自若でこりゃ大物だと思わせるお人でありました。そして役員会も終わり、食事も済みますと神社の地下にあるシャンデリアが煌めくカラオケルームに誘われ(当時はなかなかそんなお家は有りません)、そこには妖艶なドレスを身に纏ったメネットのご接待が

海外の銘酒と共にあり、メネットから婉然と、役員の皆様ご苦労さまです…ゆっくりとお寛ぎくださいといわれて皆へろへろ…結局はK君のペースで、なにを云われても、されても、三役・委員長ともども結局は「何処までもついていきます下駄の雪」の一年でありました。

K会長のときの行事の中で、京滋部会員研修会・ステッアップ・シンポジウム「奉仕クラブの基本的問題について」がもたれました。講師はかの著明なる、中央大学法学部教授小堀憲助氏であります。パレスクラブは小堀先生の奉仕クラブ論を金科玉条、バイブルにしてこれまで歩んで来たわけですが。これまでの歴代会長は小堀先生の奉仕クラブ論をよく勉強し、学んできたのです。しかし小堀先生はその講演で必ず云われるのが、「ライオンズクラブと云うところは、不浄・悪業で得たお金もライオンズクラブに入れたらそのお金は浄化してしまうと標榜している。これがライオンズクラブのクレドである」と、誠に厳しい発言される。その見事な切り口にみんな陶酔せんばかりであったのです。しかしK会長だけはむっとして、段々と厳しい顔になってきます。そのうち椅子を蹴飛ばし、憤然として会場を出て行きました。K会長は熱心なライオンズクラブのメンバーでもあったのです(笑)。その後もK会長は決して小堀先生の奉仕クラブ論を理解しようとはしませんでした。今のワイズに無いタイプの何か憎めない人物であったのは確かです。

15期目の入会者は3名で退会者は4名。2クラブチャーター後であっても60名のメンバーを擁していました。その内22年後の今もパレスに残っているのは10名、他クラブに3

思います。そのプロセスを通してメンバーとして情熱が湧き、互いに信頼感が増すのであります。手作りのログキャビンはこの意味で精神的にクラブに大きな財産を与えてくれ、又サバエの青少年のキャンププログラムに、大きな夢を与えた二重の大きな意義のある記念アクトであった。

20周年を終えてその活動は衰えるどころか、1991(平成3)年～1992(平成4)年第21代北村寿朗会長(現グローバルクラブ)期には、日本区大会で再び最優秀クラブ賞を受賞し、日本区に於いて“パレスここにあり”を示した。そんな勢いがどこから生まれてくるのか、地球のマグマが爆発するように、再びパレスクラブとしては第5番目の子クラブである京都グローバルクラブをチャーターする事になった。

1993(平成5)年3月7日京都グローバルクラブのチャーターナイトが、ブライトンホテルに於いて300余名の参加者のもとに開催された。坂田・北村両ワイズを中心に9名のメンバーがキーメンバーとして、その9名の内5名が前期の会長・三役という蒼々たるメンバーが移籍される事になり、パレスは大丈夫かなという声も聞かれたが、母子ともに体力は十分で元気そのものであった。初代会長の坂田ワイズの決意表明で「名は体を表すといいますが、これからはグローバルな視野で、国際的に地域社会にYMCAに奉仕をしたい」と述べられた。その言葉通り、2008(平成20)年の3月に15周年を迎えられたグローバルクラブでは、15周年記念事業としてカンボジアに小学校の校舎を建設され、その活動は素晴らしいものがあり着々とクラブが成長発展している事に賞賛の言葉を贈るもので

ある。親にしてみれば、子供が成長して、親を追い越しているのは大変うれしい事に違いは無いが、半面負けたく無いという意識も有り、37期大野EMC委員長の意気込みでグローバルクラブを追い越せるようにクラブ全員でがんばりましょう。その事が引いては西日本区・国際のワイズダムに大きな刺激を与える事になるに違いありません。

「パレス次郎」

第8話 「西副区理事誕生」

バブルも弾けて「不透明の時代」と云われて久しい日本の国。1996(平成8)年当時のワイズメンズクラブ日本区の情勢は、それでも86クラブ・3267名(東副区1289名・西副区1978名)の会員を擁していましたが、以前より問われている問題がありました。それは、理事・書記・会計・各事業主任等役員の方々が日本中のクラブを訪問する負担の大きさと、1000人も越す日本区大会を開催する会場が限られてくる、また一部の地域しか開催できない、役員会も人が多すぎて意見がまとまらない等、多すぎる弊害が噴出してきて、3年前より日本区を東副区と西副区に活動を分けて、いずれ東日本区と西日本区に分割をする事が決定されておりました。そんな情勢の時に第3代西副区理事鈴木浩之(名古屋東海)ワイズから、当時の第24代永井会長に、パレスクラブより第4代西副区理事を出して戴きたいと申し出が来ました。パレスクラブはこれまで、パレス出身3名の方が日本区理事を歴任されていますが、パレスクラブからの輩出はありませんでした。パレスクラブきっての明晰な頭脳と強い決断力がある

永井会長は、その場で第4代西副区理事をパレスクラブが受ける事を快諾しました。永井会長にはすぐに一人のメンバーの顔が浮かんできました。その方はパレスキーメンバーの西川寿一ワイズであります。温厚篤実・いつもニコニコしてワイズ活動をする西川ワイズを、自分の責任で西副区理事を受けてもらう事の決断、独断専行と云われようが、絶対に西川ワイズに西副区理事を受けてもらう…この強い信念に西川ワイズも快諾、この瞬間にワイズで云うトラサルディ(心の絆)が二人の間に生まれ、「肝胆相照す」仲に。まさにこれがワイズ活動の「信頼の極」であります。そして理事をサポートする西副区書記に永井会長時書記の鈴木ワイズが、会計には永井ワイズが自らの責任で役を持たれました。ご三人は、水戸黄門・助さん・格さんを彷彿させる凛々しい姿で、1996(平成8)年から1997(平成9)年の西副区行脚を始めました。訪問したクラブ、部会、周年記念、役員会は40回を超えるハードなものでした。

主たる活動は、次年度から始まる西日本区発足準備委員会委員長、西日本区事務所の設置、西日本区組織の変更(事業主任を6人から8人に増やし、指導者養成を狙って増員)、アタミ記念基金の公正なる東西の配分と、西日本区発足の要として3人の働きは大事な懸案ばかりでありましたが、高い見識を持つ西川副区理事を筆頭に、永井会計、鈴木書記の真摯な活動の姿に西副区のメンバーがパレスクラブを見直す様になって来ました。これまで、パレスクラブは小堀理論をバイブルに目を瞭らせる発展をしてきましたが、その理念に、YMCAの理念・理想だけを信条とし、他を認めない西副区の一部のメ

ンバーにパレスアレルギーがあったのは確かであります。それがパレスクラブにこんなに穏やかで潔いリーダーが居られるのを見た西副区のメンバーが、改めてパレスクラブを見直す様になって来ました。

……閑話休題。

ここまではパレス万歳であります。そう何もかもスムーズに行かぬのが世の習いであり。世間には、京都で云う「いけず」を趣味とするご人がおられるもので、相手がおとなしいと見ると掛かって来る。大阪の古いクラブのメンバーで、元YMCAの高い位を務めた人物であります。西日本区発足委員会のメンバーが京都に偏り過ぎている、各クラブに広がって居ないと、内部文書を各クラブに配布、代議員会でクレームを付けたが、永井ワイズの慇懃無礼・懇切な回答に何も言えなくなってしまつと、今度は国際に於けるYMCAに対するロイヤリティ(忠誠心)をどの様に理解しているか述べよと来た。これはお前さん方には解らんやろ…、YMCAに携わって来た、歴史と密度が貴方がたと大きく違うと言わんばかりでありましたが、鈴木ワイズの英語は得意とする処であり、西副区の書記としてしっかりと勉強しているから、ロイヤリティについて、とうとうと英語で回答したもんだから、氏はビックリ仰天、何も言えなくなったのです。

氏はYMCAに付いては学識が高いから色々難題やクレームを付けて、相手をギャフンと云わしてワイズを楽しんでおられた様で、今回は相手が悪かった。水戸黄門さんは神様の様なお人でありましたが、助さん、格さんは社会の荒波に揉まれて来た人で「つわもの」。それを見抜け無かったのは、神の見えざる手が正義にわざされたのか…こうした頼もしい書

記・会計に支えられ、見事に第4代西副区理事を勤め上げられた西川ワイズはパレスの誇りであり、宝であります。

「パレス太郎」

第9話 「25周年記念例会」

節目の会長はクラブの期待を背負って歩む事になる。31歳でパレスに入会、早くから囑望されていた井上均君が42歳でパレスクラブ25代会長を引き受けました。節目の会長をする人は自信と統率力を備えている。42歳男の厄年を躍進の「躍」にする。と力強く宣言された。井上会長に課せられた大きな課題は、今までに無い楽しい25周年をどの様に演出するかであります。早速に自家薬籠中の会長キャビネット、為国副会長。堤・杉本の両会計と鳩首相談、やはり西川長期ビジョン委員長に舵取りをお願いする事になり一歩進むことと成りました。井上会長と西川さんの25周年のプランは同じ思いで、先ず、登録費を5000円迄にする。当時パレスクラブで流行っていたカントリーの音楽と、カントリーダンスで楽しい記念例会にする事をコンセプトといたしました。それには先ず、ホテルでは費用の面で不可能であるので、京都市内の多くの会場を探し求めた結果、五条壬生川に出来て間もない、京都リサーチパークのメインホールを借りる事ができました。会館の中央に大きなホールがあり、パレス25周年の為に作られた様に思えるピッタリの会場でありました。続いて実行委員長の人選に入り、カントリーミュージシャンであり、何事にも長けているが、唯、少し切れるのが早い恐れがあるS君を、反対も有ったが、実行委員長の

大役を託す事になりました。早速にS君がリーダのワイズカントリーバンドが編成されました。大野・采野・川上・野原・皆プロ級の腕前でありました。そしてカントリーダンスを踊るメネットのチームも編成され、井上有子・河合美也子・川上ひで子・篠原智子のメネット4人が選ばれ、すぐにレッスンに入りました。

また3月17日に向けて、メンバー全員が何処かの役割を担当することになり、様々のアイデアが出て来てクラブは一段と活気に満ちてまいりました。その中で一番の課題は、参加者全員がテンガロンハットを被り、バンナダを首に巻き、ウェスタンスタイルで記念例会を楽しむことにしよう…となりましたが、5000円の登録費ではとても賄えず、立ち消えそうになりましたが、そこはやはり節目の井上会長。頑張って色々調べて、アメリカから直接買うと言う荒業で目的の演出が可能となりました。メンバーの持ち場の準備も整い、為国君のお洒落な25周年記念例会の案内が日本・韓国・台湾・のワイズに発送されました。そうする内に、実行委員長のS君が強い責任感からか、出欠の返事を今か、今かと毎日首を長くして待っていましたが、ワイズの出欠の返事は遅い事が多く、のんびりした人がわり方多い。自分はこんなに頑張っているのに、出欠の返事ぐらいはよ出せと、当たる相手は会長しかない。仕事はマンション経営で閑な時間は多くある。

考えるのは出欠の事ばかりで、20日も経ってもなかなか返事が来ないと、苛々して、ワイズはどないなつとるんだと井上会長を一段と責めるようになって来ました。30日過ぎても返事が少ない、これは会長の責任だ。君から各ワイズに連絡せえ……と、連日の電話である。会長より14歳年長

で、豪腕の強面。きれやすい性格がでてしまった。ある朝会長から私に電話があり、第一声が、やっしまいました……なんや……実行委員長とバンドを辞めるとSさんが言われましたので、そうですかそれでは辞めて下さいと云いました。

後任は私が探しますとの電話でありました。とうとうやったか……しかし大事な25周年だから、又、会長のリーダーシップも問われるから此处は我慢のしどころ、腹たつけど、自分からあやまりに行けと、それでも駄目なら仕方がない。会長として初めての試練でありましたが、心を込めて謝り、何とか事なきを得ましたが、普通なら何も謝る事ではないが、ここが節目の会長の辛い所で、閑雲野鶴の境遇にいる実行委員長には、責任の重いリーダーの気持ちが理解出来ていなかったようです。このように大きなイベントの影には、皆さんに知らせぬままの苦労が何時でもあるのです。それをサラットこなせるのがパレスのリーダーなのです。1996年3月17日は快晴に恵まれ、350名の出席でありました。会場はテングロンハットをかぶった人達で、今までに無い風景である。みな、テングロンとバンドナがお気に入りで良く似合い嬉々とされていました。主賓の挨拶も皆くだけで、笑い、笑いで、狙い通りの楽しい記念例会となりました。25周年記念事業の記念としては、YMCAヘワゴン車一台贈呈されました。東京グリーン・熱海クラブとのDBCも和やかに締結され、東西文化の交流が一段と進む楽しみなワイズのDBC締結でありました。宴もたけなわ、ワイズカントリーバンドによる演奏で、パレスメネットによるカントリーダンスのデモンストレーションが始まりました。赤のテングロンハットにお揃いの衣装でアメリカ国旗を奉げて登

場、一瞬、会場から、可愛い・かっこいい・の声、声。見事なダンスで皆うっとり。つづいて友定先生によるカントリーダンスのレッスンが始まり、皆さん大喜びで踊る、広いホールも人々で、カントリーダンス大ブレイク、大いに楽しんでいただきました。踊った後の飲み物は総て1ドル。それも4人の来賓の顔入りの1ドル紙幣と引き換えと、素敵なアイデアで、皆さん記念に持ち帰られました。為国君の手になる「パレスはワイズを元気にする」の標語もおこがましいことでしたが、出席者のみなさんが、パレスに元気を貰ったと本音でいわれ、見事に標語通りになりました。最後に会場の掃除、後かたづけを全員ではたらき、パレスメンバーが一丸となった25周年記念例会でありました。

「パレス太郎」

第10話 「第5回京都部部会・30周年記念例会」

親睦の内に素晴らしい人間を創るための、愛に基づく自己研鑽の場としてクラブを位置づけてきたパレスクラブが30周年を迎え、第30代会長に久々のイケメンの河合信也君が就任した。“ありがとう愛、30th、いつまでも愛”を会長標語として掲げられ、その持ち前の実直さと緻密さを発揮され、パレスクラブを更に充実、そして発展に貢献された。

この期はパレスクラブから京都部部長にS君を輩出し、京都部部会をホストする事と、パレスクラブがチャーターして満30年になり、記念例会を開催するという2大イベントが行われた。この両方のイベントの実行委員長に、25代会長の井上均君が引き受け2つの大きなイベントの成功に

向けて、そのリーダーシップを発揮された。本来ならばそれぞれのイベントに実行委員長を設ける事も考えられたが、同じパレスクラブが行うイベントだから、何もメンバーが別々に分かれてやる必要はないという長期ビジョン委員会の結論で、両方とも井上君にお願いをした経緯がある。

“自立そして連帯”を部長標語として掲げられた京都部部長のS君は、京都部500人例会を目指す事になり、プログラム委員長の犬野君を中心に、一人ひとりが主役になる部会が企画された。2000年9月23日第5回京都部部会が、国際会館イベントホールに於いて、約400名の参加者で開催された。今回は一人ひとりが主役になる部会というコンセプトなので、プロの歌舞音曲はいれず手造りで行われた。S君の部長挨拶も彼のユニークな性格上、何をしゃべるかわからないので、あらかじめ原稿を渡しておいて、それを読んでもらうという事になっていたのだが、当日S君はそれを無視して滔滔と長くスピーチをされて、予定時間をオーバーしてしまった。そんな奇想天外なS君は残念ながら2007年6月に退会され、おいしいメンバーを失くしてしまったものだ。部会を無事成功裡に終えてまもなく、この期の2回目のイベントである30周年記念例会に向けてメンバーは力を結集した。

2001年3月17日京都国際会館に於いて、パレスクラブ30周年記念例会を開催した。記念講演には西枝君のご尽力により、当時テレビや新聞等マスコミのなかで大活躍の弁護士の中坊公平氏を招いて“豊島から環境問題を考える”という演題で行われた。当時中坊公平氏は“平成の鬼平”といわれ、住専不良債権処理と豊島の産業廃棄物不法投棄事件という大役を同時進行でこなされ、ゆ

くゆくは総理大臣になってほしいという声があちこちから聞かれるほど国民的に大人気のあるすごい方で、そんなすごい人を呼べるメンバーがパレスクラブにおられるなんてパレスはすごいなあとあちこちから聞かれた。そんなすごい人に基調講演をお願いした事もあって当日は予想以上の参加者があり、これは裏話であるが京都部部会は参加者が少なくて赤字だったのですが、この30周年記念例会は黒字になり、うまく埋め合わせが出来た事に実行委員会は胸をなでおろした。当日はアメリカのノースウエストクラブとのIBC締結式も行われ、パレスクラブとして当時5番目のIBCが結ばれた。

2つの大きなイベントを、河合会長の素晴らしいリーダーシップとメンバーの英知と結束によって見事に成し終えたパレスは次の節目である35期に向けて着実に歩み始めた。次回は犬野嘉宏西日本区理事誕生・第7回西日本区大会です。

お楽しみに。

「パレス次郎」

第11話 「第7代西日本区理事と第7回西日本区大会」

パレスクラブ設立から10年目の1981年に犬野さんは、日本区EMC事業主任に就任。その後、アジアEMC事業主任。1988年・第58回京都国際大会のプログラム委員長と輝かしい経歴を抱く犬野さんが、その後、日本区理事をはじめ、日本区事業主任の要請を頑に受けなかったのは、当時の日本区に対して感ずるところがあり、15年間、区のワイズ活動は無聊を囲っておられた。しかし、その間パレスクラブの発展に尽くさ

れ、ビジネスを確実なものに拡大されていた。ところが、日本区が東西に分かれてから、犬野さんに西日本区理事就任への熱い期待が高まり、多くのワイズメンから強く背中を押されて、とうとう第7代犬野西日本区理事の誕生となりました。まさに眠れる獅子がようやく起き上がったと言えるのであります。

理事に決まったとなれば、先ず、「隗より始めよ」の心得を持って当たられ、そして凄い行動力は、水を得た魚のごとくで、ワイズに粉骨砕身の気持ちを抱いて臨まれた。

ところで、理事になり一番心悩ますのは理事が主宰となる西日本大会を何処で、どんな大会にするかでありませう。キャビネットからは様々なプランが出るが、最終に決まったのは、さすが日本国中のワイズメンズクラブを知り尽くした犬野さんの思いでありました。地方のワイズの発展を図るためと、大会の宴を大座敷で膝を突き合す、ゆっくりと温泉に浸かる。今迄にない親睦の高まる西日本区大会をする。まさにワイズの申し子と言える犬野理事のプランでありました。決まったのは、会場が加賀市文化会館・宿泊は加賀山代温泉ホテル百万石。そこには1000人が一同に会して宴が出来る大座敷があるのです。

大会のホストクラブは、金沢市で歴史を重ねる金沢・金沢犀川・金沢浅野川・そしてパレスクラブと4クラブの共同ですために金沢3クラブに集まってもらい、挨拶を兼ねて大会の趣旨とホストクラブのお願いを頼みに行きました。ところが金沢浅野川クラブから、何故理事が勝手に金沢の地で西日本区大会をする事を決めるのか……そんなこと協力出来るかと……訳の分らん事を言い出した。「西日本区大会は、理事が主宰し、大会の目的は、参加する各クラブおよび

会員が情報を交換し、お互いに啓発し、共に運動を担う者としての連帯と協力を一層深めることにある」と、定款に記されているのを知ってるのか、知らないのか、結局は後日、長文の抗議文が来て、協力出来ないとのことでありました。浅野川クラブは長谷川ワイズの私物化されたクラブで、自分の領分が大会によって侵される、ながくワイズをしてきたという矜持が変なところへ流れていったようです。理事に対する抗議文もかなり激しい内容でありましたが、西枝ワイズの得意とする処の文書返答で静かになりました。

大会実行委員長は金沢クラブの渋谷さん・総務は為国・プログラムは川上・登録は杉本・会計は河合と決まり進んで行きましたが、大会の大方はパレスがするのでありますから、パレス側の実行委員長の責任が重く、当初は田中慎一君が取り仕切ったが、1カ月で降りたため、次に受ける者がなく選考に手まどったが、荒川君がえて火中の栗を拾って委員長を引き受けてくれた。荒川君の手になる大会アピールのビデオが大うけで多くの参加の確信を見てほっとしたものであります。

2004年6月12日(土)・13日(日)大会当日は快晴で900名近くの出席と、新記録の登録でありました。

式典は西日本区理事犬野さんの晴れやかな開会宣言・点鐘で始まりました。

西日本区理事挨拶・報告の中で「活発な奉仕活動」は、たゆまぬ親睦の中から生まれる。親睦の中から生まれたエネルギーが新たな活動を生み、活発な活動のあるところに、人々が集います。そして、共に手を取り合い、理事標語「未来に架ける橋」を架けようと、2003年から2004年の1年、ワイズメンズクラブ発展のため身を尽



くされた大野理事に鳴り止まぬ万雷の拍手がありました。加賀市長 大幸甚氏の来賓祝辞もあり、金沢2クラブの頑張りが見えました。異邦人の歌で人気の高い久保田早紀さんのミニコンサートで楽しく式典を終え、いよいよお楽しみのホテル百万石の懇親会へ移りました。

「はんなり」と「おんぼらーと」と、先ずは大温泉で疲れを癒す、そして浴衣に着替えてホテル百万石が誇る1000人が宴会できる「謙六」の大座敷での懇親会が始まりました。

しかし決められた席に座ってもらうのが大変で、椅子でないと座れないお年寄りや、仲間と離れた席を代えてくれとか、なんや、かんやと、賑やかで、誠に楽しい場面でありました。パレスのメンバーは食事後回しでの大奮闘、よく働きました。ほぼ完璧の宴が愉快に進行し、お酒の進むこと。膝付き合わせてのワイズ談議が談論風発、大野理事の思いを超える大盛況でありました。パレスさん、またやってねの声が多くありましたが、ここまで来るのにはメンバーの大きなエネルギーが必要で、皆ふらふらになりながら夜遅くまで頑張り、翌日の表彰・引継・閉会式を加賀市文化会館で無事迎えました。

大会をなんのトラブルもミスもなく、最後までメンバー全員が心を引き締めて臨められたのは、内容の濃い研修の結果と、チームワークがすべてであったと感じました。完璧なフィナーレの中で、実行委員長の渋谷さんの

御礼の挨拶があり、金沢の地に西日本区大会を開催してくれた大野理事とパレスクラブに深い感謝を述べられた。閉会点鐘の大野さんには、大役を無事終えた達成感と、ワイズへの思いから眼には感涙のまなざしがありました。西日本区大会ホストをするには此処には書き切れない様々の事がまだまだ沢山ありましたが、メンバーが心ひとつとなって西日本区大会を終えられたのは、いい思い出と経験となり、次につながって行く事でしょう。

次号は35周年記念例会です、次郎さんの執筆です。ご期待下さい。
「パレス太郎」

第12話 「35周年記念例会」

35年目を迎えたパレスクラブは、人生でいえば一番脂の乗り切った最も意気盛んな年頃、そんな期に最もふさわしい才気活発な男、為国光俊君が第35代会長に就任した。会長標語は“視点を変えよう、自分たちのためのクラブライフ”であった。正に35年経つとクラブもマンネリ化して、少し活動も停滞気味であったので、この標語はクラブに活を入れる

のにふさわしい標語であった。そして35周年実行委員長に河合信也君が就任した。この人選にはいろいろ過去の経緯があり、河合君が30期の会長の時、25期の会長であった井上均君が30周年実行委員長を引き受けられたのであった。この慣習からすると40周年の実行委員長は為国君になるのかな？

35周年実行委員会では35周年を式典ではなしに、IBC・DBCを交えて楽しもうというコンセプトでの記念例会にする事に決定した。又多額の費用を要する記念誌発行は取り止めとしたが、過去の記録だけは整理して残しておくべきとの意見から、“35年の歩み”と題してのビデオをつくる事とした。このビデオ作成は当時広報委員長の平野君が中心となり、古いメンバーも混じって作成した。資料を探すのに大変であったが、平野君もパレスの古き時代の事が勉強できて大変よかったと喜んでた。

記念例会は2006年3月11日京都ホテルオークラで“心のハーモニー 夢をおいかけて”をテーマに開催された。このすばらしい記念例会で福井将一君が入会された。この記念例会は会長の意向もあり、和の芸術を取り入れて行われ、幕開けは歌舞伎



の口上を模した三役による口上で始まった。又2部は為国会長の力強い太鼓“夜明け”によって始まり、為国会長の日頃空手で鍛えた上半身と見事なパチさばきに会場は割れんばかりの拍手。為国会長はこの日のために川上君の知人の太鼓の先生に毎晩特訓を受けられていた。俄か仕込みとはいえ見事であった。この時の為国会長の衣装について、彼自身はフンドシ姿でやりたかったようだが、ワイズメン・メネットの前でちょっと雰囲気違うし、パレスクラブの品性も疑われるという意見もあって最終的には羽織・袴姿で片肌を出しての姿になった。この時以来会長ともなれば何か一つ一芸に秀でるものを持っていないと会長になれないなあと感じた。そういえば36代井上会長もギター片手にフォーク調の音楽が得意であるし、37代川上会長もバンジョ片手に広いジャンルの音楽が得意である。38代田中会長は沢田研二のものまねが得意であり、これからの会長は大変であります。

この記念例会でハワイセントラルYサービスクラブとのIBC締結式が、中川リージョナルSD、服部西日本区交流主任の立会いのもとで行われ、フィルサマー会長と為国会長が熱い握手を交わし今後の友好を誓い

合った。このIBC締結の経緯は、以前からハワイのクラブとIBCを結びたいという意向があり、今から約5年前フラダンスが上手で、たびたびハワイに行かれてハワイが大好きな井上均君のメネットの有子さん(2000年にオアフ島のカイルキクラブに入会)がハワイリジョナルコンベンションにもちろん均さんも一緒に参加された時、セントラルYサービスクラブに打診をしておかれて、その後何回と無く顔を合わせる内に、この35周年を前にセントラルクラブから正式に締結の要望があり、今回の締結の運びとなった。

また記念アクトとしてYMCAサバエキャンプ場のパレスキャビン改修工事を行った。メンバー自身がIBC・DBCを交えて皆で35周年を祝い、楽しもうというコンセプトで行われた記念例会は、河合実行委員長のリーダーシップと為国会長の熱い思いが結集して、すばらしい記念例会になった。

前期から1年半続いたこのパレスものがたりも今回をもって完結する事になりました。いずれ第2弾のパレスものがたりが30年後位に掲載される頃には私達はこの世にはもういないと思いますが、いやいやひょっとすると太郎さんはまだまだ私がいなくてはパレスがどうなるか心配だといって頑張っておられるかもわかりませんね。このような企画を老兵二人太郎(杉本泰造)、次郎(西川寿一)に与えていただいた前期・今期の広報委員会に感謝いたします。

「パレス次郎」



安達 雅直 スポンサー:大野 嘉宏

- 入会日: 2006年3月22日
- 職業: 繊維用糊材及び化学品の輸出入・販売業
ATI(株) 代表取締役
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2007 書記
- 2008 会計
- 2010 会計



阿部 和博

- 入会日: 2003年7月9日
- 職業: YMCA連絡主事
- メネット: 和美



井上 博司 スポンサー:西村 道隆

- 入会日: 2010年10月13日
- 職業: 生花業
(株)井上花壇



大嶋 正人 スポンサー:田中 一馬

- 入会日: 2007年7月11日
- 職業: 精密機械製造業
(有)大島製作所 取締役



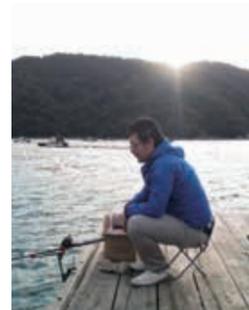
荒川 徹 スポンサー:杉本 泰造

- 入会日: 1986年11月26日
- 職業: 染色・縫製・飲食業
(株)京都紋付 代表取締役
- メネット: 恵子
- コメント: 麻由・優真
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2002 会長
- 2003 西日本区大会
準備委員長
- 2005 書記



家喜 博矢 スポンサー:藤松 幸一

- 入会日: 2011年3月23日
- 職業: グラフィックデザイン
フォトアンドデザイン7004
- メネット: 梓



大槻 久美子 スポンサー:野口 大輔

- 入会日: 2012年2月8日
- 職業: カウンセリングルーム Big Smile
- 配偶者: 哲也



大野バージニア スポンサー:小西 孝典

- 入会日: 2010年10月27日
- 職業: ラウンジ
ラッキー フェイセス 代表者



井上 彰 スポンサー:田中 慎一

- 入会日: 1993年12月8日
- 職業: クリーニング業
(株)井上クリーニング 代表取締役
- メネット: 智子
- コメント: 可奈子・幸太
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2002 Yサ・ユース委員長
- 2006 会長



井上 均 スポンサー:林 孝治

- 入会日: 1983年4月13日
- 職業: 保険代理・貸室業
(株)京都マリンサービス 代表取締役
- メネット: 有子
- コメント: 文輔・兼輔
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2001 書記
- 2003 ドライバー委員長
- 2005 会計
- 2010 40周年交流委員長
- 2011 40周年+1
交流委員長



大野 嘉宏 (キーメンバー)

- 入会日: 1971年1月19日
- 職業: 業務用繊維製品業 大野(株) 代表取締役
- メネット: 三恵子
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2001 副会長
- 2002 長期ビジョン委員長
- 2003 西日本区理事
- 2005 西日本区監事
- 2007 EMC委員長
- 2010 40周年
プログラム委員長
- 2011 40周年+1
プログラム委員長



大森 夏彦 スポンサー:福井 将一

- 入会日: 2009年4月22日
- 職業: 一級建築士事務所
エイペグ 代表者
- メネット: 由美子
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2010 会計



岡見 紫

スポンサー：大野 嘉宏

- 入会日：2000年4月26日
- 職業：飲食・音楽イベントプロデュース業
ブレラ 代表者
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2003 会計
- 2005 地域奉仕委員長
- 2007 Yサ・ユース委員長
- 2009 副会長



隠塚 功

スポンサー：山田 高弘

- 入会日：1998年10月14日
- 職業：京都市左京区市会議員
- メネット：文香
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2003 京都部EMC主査
- 2005 副会長
- 2007 広報委員長
- 2008 副会長
- 2009 会長



川勝 政男

スポンサー：山田 高弘

- 入会日：2000年12月13日
- 職業：一級建築士事務所（建築設計・監理）
(有)川勝建築計画室 代表取締役
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2002 交流委員長
- 2004 書記
- 2007 書記
- 2009 地域奉仕・環境委員長
- 2011 次期会長



川上 孝司

スポンサー：永井 孝

- 入会日：1993年1月9日
- 職業：薪ストーブ暖炉輸入販売業
(株)京阪エンジニアリング 代表取締役
- メネット：ひで子
- コメント：弦太・ふみ・隆太
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2003 交流委員長・西日本区大会プログラム委員長
- 2004 京都部Yサ・ユース事業主査
- 2005 会長
- 2009 ファンド委員長



金井 哲郎

スポンサー：井上 均

- 入会日：2011年7月27日
- 職業：飲食店経営・企画デザイン
MASTERMIND(株) 代表取締役
- メネット：真喜
- コネット：更紗・悠一郎



金村 孝一

スポンサー：三尾 啓

- 入会日：2006年6月28日
- 職業：建築・リフォーム業
(株)成工建設 代表取締役
- メネット：清美
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2010 Yサ・ユース委員長



国本 忠義

スポンサー：福井 将一

- 入会日：2011年12月14日
- 職業：焼肉チェーン益市
(有)MASUICHI 代表取締役
- メネット：和美
- コメント：桃菜・佳奈・憲辰



小櫻 武彦

スポンサー：立入 勝美

- 入会日：1987年11月11日
- 職業：写真撮影業
ユニオン写真企画 代表
- メネット：八重子
- コメント：理人・康人・啓人
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2004 会長
- 2007 会計
- 2011 Yサ・ユース委員長



蒲生 泰人

スポンサー：大西 寛子

- 入会日：2010年4月28日
- 職業：美容室
フェイク プラス
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2011 広報委員長



河合 信也

スポンサー：杉井 恭敏

- 入会日：1989年8月23日
- 職業：一級建築士・建設業
太陽建設工業(株) 代表取締役
- メネット：美也子 ●コメント：賀奈子・真帆
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2002 EMC委員長
- 2003 書記・西日本区大会 会計
- 2004 副会長
- 2005 35周年委員長
- 2007 副会長
- 2008 追加事業検討委員長
- 2009 書記
- 2011 書記



後藤 有志

スポンサー：高岡 昇

- 入会日：2011年3月23日
- 職業：歯科技工士
(株)ステラ
- メネット：知沙
- コメント：沙弥



小西 孝典

スポンサー：田中 慎一

- 入会日：2000年12月13日
- 職業：宝石・メガネ小売業
ジュエル・マルニシ 代表者
- メネット：和子
- コメント：恵理香
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2002 会計
- 2003 EMC委員長
- 2004 地域奉仕委員長
- 2006 交流委員長
- 2009 EMC委員長
- 2011 副会長



小林 千春

スポンサー：大野 嘉宏

- 入会日：2005年3月9日
- 職業：弁護士
小林千春法律事務所 代表者
- メネット：千晴
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2006 会計
- 2008 副会長
- 2009 会計
- 2010 書記
- 2011 EMC委員長



笹山 直世

スポンサー：大野 嘉宏

- 入会日：2006年6月28日
- 職業：パッケージ製造業
(株)タモツ紙工 代表取締役
- メネット：友香
- コメント：尚輝・歴大・和真
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2007 交流



高岡 昇

スポンサー：永井 孝

- 入会日：1988年11月9日
- 職業：歯科医師
高岡歯科医院
- コメント：真弓
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2005 交流委員長
- 2011 ドライバー委員長



高谷 泰市

スポンサー：石本 忠義

- 入会日：1976年12月19日
- 職業：元YMCA総主事(名誉主事)
- メネット：町江



新納 麻衣子

スポンサー：小林 千春

- 入会日：2012年4月22日
- 職業：税理士・公認会計士
新納会計事務所
- 配偶者：山根木雅也
- コメント：山根木颯馬・悠馬



杉本 泰造

スポンサー：小谷 彰

- 入会日：1980年10月8日
- 職業：呉服卸業
杉本吉(株) 代表取締役
- メネット：笙子 ●コメント：理恵子・真理子
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2002 副会長
- 2003 西日本区大会
登録委員長
- 2009 会計
- 2010 40周年記念誌
委員長
- 2011 40周年+1
記念誌委員長



田中 一馬

スポンサー：為国 光俊

- 入会日：1996年3月27日
- 職業：保険代理業
パンタナールFP(株) 代表取締役
- メネット：依里子
- コメント：亜緒衣・佑奈
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2002 会計
- 2003 西日本区
理事事務局長
- 2006 ドライバー委員長
- 2008 会長



谷口 龍一

スポンサー：小林 千春

- 入会日：2010年10月13日
- 職業：司法書士、行政書士
- メネット：恵子
- コメント：琴海・京也



瀬戸 伊佐雄

スポンサー：安岡 忠男

- 入会日：1994年10月12日
- 職業：電気設備工事業
(株)瀬戸電設 代表取締役
- メネット：智恵子



千賀 修

スポンサー：吉岡 幸次

- 入会日：2010年4月10日
- 職業：繊維品卸売業
(株)京都千賀 代表取締役
- メネット：由紀
- コメント：龍・未来
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2011 書記



為国 光俊

スポンサー：荒川 徹

- 入会日：1989年11月8日
- 職業：デザイン・印刷業
為国印刷(株) 代表取締役
- コメント：晃雅
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2002 副会長
- 2005 会長
- 2008 書記
- 2009 40周年実行委員長
- 2010 //
- 2011 40周年+1実行委員長
副会長



塚本 優子

スポンサー：福井 将一

- 入会日：2009年4月22日
- 職業：コンビニエンスストア
(株)塚本 代表取締役
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2010 ドライバー委員長



堤 雄次 スポンサー：井上 均

- 入会日：1986年12月21日
- 職業：建設業
(株)堤工業 代表取締役
- メネット：良枝
- コメント：敏貴・映人
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2003 会長
- 2006 書記
- 2008 ドライバー委員長
- 2011 京都部地域奉仕・環境主査



永井 孝 スポンサー：三輪 康久

- 入会日：1982年12月19日
- 職業：宅地建物取引業
(株)萬誠社 代表取締役
- メネット：邦子
- コメント：剛・幸代・久栄・富佳
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2001 ドライバー委員長
- 2007 //



西村 道隆 スポンサー：永井 孝

- 入会日：2003年2月25日
- 職業：酒類販売業
北白川「にしむら酒店」代表者
- メネット：寿子
- コメント：隆彦・隆祐
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2007 地域奉仕・環境委員長



野口 大輔 スポンサー：福井 将一

- 入会日：2007年9月26日
- 職業：宅地建物取引業
(有)ワンダーランド 代表取締役
- メネット：かおり
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2008 ファンド委員長



奈須 直樹 スポンサー：森田 美都子

- 入会日：2010年12月23日
- 職業：経営コンサルタント
- メネット：篤子
- コメント：隼大・貴大・結希



西枝 攻 スポンサー：高橋 卓也

- 入会日：1986年12月21日
- 職業：弁護士 吉田・西枝法律事務所
- メネット：芙佐子 ●コメント：佳代子・康一・寿子・英幸
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2001 会計
- 2003 //
- 2004 書記
- 2005 ドライバー委員長
- 2006 財務委員長
- 2007 広報委員長
- 2009 ドライバー委員長
- 2010 40周年登録委員長
- 2011 40周年+1登録委員長
- // 会計



畑 嘉雄 スポンサー：森田 美都子

- 入会日：2011年8月24日
- 職業：プリントショップ 電術社
- メネット：弘美
- コメント：佑紀



服部 洋典 スポンサー：安達 雅直

- 入会日：2011年3月9日
- 職業：染色加工
服部染工(株)
- メネット：淳美
- コメント：光希・祐希



西川 寿一 (キーメンバー)

- 入会日：1971年1月19日
- 職業：和装小物卸業
西川(株) 代表取締役
- メネット：和子
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 第四代 西副区理事 (1996～1997)
- 2002 書記
- 2006 副会長
- 2009 Yサ・ユース委員長



西中 日向 スポンサー：戸田 昌伸

- 入会日：1980年6月11日
- 職業：造園業
西中造園 代表者
- メネット：美千子



林 利治 スポンサー：西川 寿一

- 入会日：2010年10月13日
- 職業：風呂敷製造卸
丸和商業(株)
- メネット：圭衣子
- コメント：洸佑・美里



東畑 泰弘 スポンサー：野口 大輔

- 入会日：2008年3月26日
- 職業：ビル清掃業
(株)グリーンライフ 代表取締役
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2011 ファンド委員長



人見 晃弘

スポンサー：大野 嘉宏

- 入会日：2008年2月27日
- 職業：織物各種・製品卸業
ヒトミ商店
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2009 書記
- 2010 ファンド委員長



桧山 政宏

スポンサー：野口 大輔

- 入会日：2008年1月9日
- 職業：司法書士
桧山司法書士事務所
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2011 会計



福森 則男

スポンサー：野口 大輔

- 入会日：2011年11月9日
- 職業：医師
京都大学大学院医学研究科
医療疫学分野（大学院生）



藤松 幸一

スポンサー：福井 将一

- 入会日：2009年4月22日
- 職業：酒類食品小売業
(株)ふじまつ
- メネット：三佳
- コメント：怜大・沙羽・玖斗
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2010 書記
- 2011 地域奉仕・環境
委員長



平井 千香子

スポンサー：高岡 昇

- 入会日：2003年9月24日
- 職業：歯科医師
平井歯科ちかデンタルクリニック



平野 雅幸

スポンサー：山本 一博

- 入会日：2002年11月27日
- 職業：ギフト卸業
(株)ひらのや 専務取締役
- メネット：直美 ●コメント：明梨
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2003 書記
- 2004 会計
- 2005 広報委員長
- 2006 書記
- 2008 Yサ・ユース委員長
- 2009 京都部広報主査
- 2010 副会長
- 2011 交流委員長



古川 安雄

スポンサー：為国 光俊

- 入会日：2011年4月16日
- 職業：損害保険
(有)アドヴァンス
- メネット：侑貴子



松崎 一博

スポンサー：荒川 徹

- 入会日：2005年5月25日
- 職業：社会保険労務士
松崎社会保険労務士事務所
- メネット：政代



福井 将一

スポンサー：高田 敦

- 入会日：2006年3月11日
- 職業：飲食業（串だいにんぐ）
(有)浪漫家グループ 代表取締役
- メネット：友美子
- コメント：龍之介
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2007 ファンド委員長
- 2008 EMC委員長
- 2010 地域奉仕・環境委員長



福井 正太

スポンサー：小西 孝典

- 入会日：2011年3月9日
- 職業：飲食業
大衆寿司酒場丸福



松谷 紀彦

スポンサー：蒲生 泰人

- 入会日：2011年8月24日
- 職業：日本料理
料理店白松 代表
- メネット：宏子
- コメント：律和



松山 英夫

スポンサー：野口 大輔

- 入会日：2012年3月14日
- 職業：住宅リフォーム
(有)アルファプランニング



森田 美都子 スポンサー：大野 嘉宏

- 入会日：2000年12月13日
- 職業：人材派遣業
(株)M・O・Rオフィス 代表取締役
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2003 副会長
- 2004 交流委員長
- 2006 広報委員長
- 2007 京都部交流主査
- 2009 交流委員長
- 2010 副会長
- 2011 会長



安田 久理人 スポンサー：高岡 昇

- 入会日：2011年3月23日
- 職業：歯科医師
安田歯科医院
- メネット：麗子
- コメント：伊吹・朝暘



山本 好一 スポンサー：大野 嘉宏

- 入会日：2001年5月9日
- 職業：葬祭サービス業
(株)公益社
- メネット：節子
- コメント：優・秀・このみ



吉岡 幸次 スポンサー：福井 将一

- 入会日：2009年4月22日
- 職業：看板・イベント企画
(有)KANAME 代表取締役
- メネット：藤子
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2010 広報委員長



安原 弘治 スポンサー：為国 光俊

- 入会日：2010年11月24日
- 職業：印刷機材販売
(有)安原商会



山岸 弘侍 スポンサー：簡井 信貴雄

- 入会日：1988年7月13日
- 職業：造園業
やまひろ造園
- メネット：百代
- コメント：功太郎
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2001 Yサ・ユース委員長
- 2002 ファンド委員長



吉岡 高幸 スポンサー：川上 孝司

- 入会日：2009年12月9日
- 職業：精密板金加工
(有)吉岡製作所 代表取締役
- メネット：美加
- コメント：和馬・和泉
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2010 交流委員長



吉田 恵美 スポンサー：大野 嘉宏

- 入会日：2010年8月25日
- 職業：テキスタイルデザイン
- 配偶者：黒石 晋



山下 倫巨 スポンサー：野口 大輔

- 入会日：2011年12月14日
- 職業：貿易業（ペット製品衛生用品）
(株)グッドスマイル インターナショナル
代表取締役
- メネット：和代
- コメント：琳太郎・瑛次郎・瑠介



山本 一博 スポンサー：田中 慎一

- 入会日：1997年12月21日
- 職業：情報処理・ネットワーク構築
(株)オクトパス 専務取締役
- メネット：智子 ●コメント：健太・浩太
- 2001～2011年の活動歴
(パレス・京都部・西日本区・役職名)
- 2002 広報委員長
- 2003 副会長
- 2004 EMC委員長
- 2005 京都部広報主査
- 2006 会計
- 2008 会計
- 2009 副会長
- 2010 会長
- 2011 直前会長





チャーターメンバー 故 宮本隼史君を偲んで

大野 嘉宏

友人の結婚式の同じテーブルで、カッコいい男を見つけました。ちょうど新しいクラブを創るため、必死になって人探しをしていた時だったので、「こんな男を入れたい」との思いで、数日後、家を訪ねたら、ちょうど法事で寺に行っているとのこと、その足で寺まで会いに行きました。

スキーで骨折したとのこと、松葉杖について怪訝な顔をし、出てきたのを覚えています。なかなかの遊び人で、上七軒では顔、スキー、ダンスは一流、歌はうなるという西陣の若ダンナでありました。それでも、新しいクラブの立上げから参加してくれて、チャーターナイトを迎える頃にはすっかりワイズメンとしての風格を備え、その頃から上七軒通いも少なくなった、と後日言っておりました。日本区大会、台湾区大会と思い出を重ねていき、78年にパレスがホストした日本区大会のディナーパーティーでは、ユーモアとセンスあふれる司会を見事に務めてくれました。

私と宮本君とは同じ年で、誕生日も5日ちがいのということ、パレスの創設から共に苦労してきた仲で、まさに無二の親友と呼べる男で、発病を聞いた時のショック。それでも酸素ボンベを引っぱりながら近所の料理屋に向い出てくれて、短時間でも楽しそうな顔で語り合ったことなど、忘れられない思い出がいっぱい話っています。

肺が堅くなって行って、空気がうまく体内に取り入れられないという不治の病とは聞かされていたので覚悟はしていたものの、別れの日、立派な後継ぎの姿に安心をしながらも、まだまだワイズをやりたかっただろうな、と涙が止まらず「向こうに行ったら思う存分、空気を吸えよ」と心の中で叫んでいました。そしてもう一言「まだ僕を迎えにくるなよ」と。

西川 寿一

ワイズ・YMCAに多くの功績を残された宮本君が何よりも自慢されておられたのは、体調をくずされる3年前までパレスクラブチャーター以来1回も欠かさず日本区・西日本区大会に参加されておられたことでした。今思い出しますと、彼は旅が好きで各地で行われる日本区大会の前後にその地方に行って、現地の美味しいものを食べるのを大

変楽しみにしておられ、私も彼に頼んで美味しい料理屋さんを捜してもらって、何回か大会の前後に一緒に食事を楽しんだ思い出があります。また、彼は伝統的な房・紐の製造を仕事とし、平成13年に京都府伝統産業優秀技術者に贈られる“京の名工”を、そして平成17年には労働大臣から卓越した技能者に贈られる“現代の名工”を受賞されている。自宅も西陣という地域に住んでおられて、京都の風習・習慣を非常に大切にされていて、私も彼から京都人としてのお付き合いについていろいろ教えていただきました。パレスクラブに対しても常に強い信念を持っておられ、ワイズメンズクラブの目的に照らし合わせて活動することを望んでおられた。そんな彼の熱い情熱をいまでも感じております。彼の言葉で言うと“いつまでもパレスのことを案じています”。私の心の中にこの言葉がいつまでも生き続けることでしょう。ご冥福をお祈りいたします。

宮本隼史ワイズの活動の履歴

◆ワイズに於ける履歴

- 1971年1月19日 京都パレスクラブ入会（チャーターメンバー）。
- 1979年7月～1980年6月 京都パレスクラブ第9代会長。
- 1980年5月5日 最優秀クラブ賞を受賞。
- 1984年7月～1985年6月 YBEP事業主任を歴任され理事特別賞を受賞。
- 1986年3月～1986年11月 京都プリンスクラブ設立準備委員長とチャーターナイト実行委員長を歴任。
- 1987年7月～1988年6月 京滋部書記を歴任。

◆京都YMCAに於ける履歴

- 1971年3月 YMCA維持会員となる。
- 1976年2月 YMCA正会員となり、常置委員会で活躍。
- 1974年～1988年 野外活動事業委員。
- 1989年～2008年 ウェルネス事業委員、スキー小委員会委員長等を歴任。
- 2010年7月 25年以上の目覚しいYMCA活動に対し、青少年奉仕賞を受賞。



パレスメンバー 故 植田 学君を偲んで

大森 夏彦

あ・うんの仲の『君と僕』は、今年で25周年、もっと付き合いの古い友人は居るが、僕の人生で一番楽しく長い時間を共に過ごしたのは、妻には申し訳ないが、未だ君の方だ。何時も何時も一緒だったよなあ。そして当然のように、僕がワイズなら、君もワイズメン。

突然の心不全とはいえ、40歳という若さで永眠なんて、本当に痛恨の情にたえないとは、この事ですよ。

パレスクラブでも、亡くなった君を惜しみ、悲しんでくれる多くのメンバーが居ます。ボケとツッコミに厳しく、笑いを常に求める君のキャラクターだからこそその人徳でしょう。「とても明るく優しい人柄。…30歳代のラストの年、パレスに出会い参加することが、40歳以降に飛躍する原動力となると考えます。」と推薦したのが、本年の3月初旬。3月10日には入会式を済ませ、5月初旬には、台中エバークリーンクラブ35年記念式典に参加登録し、人生初の海外訪問をクラブ交流事業と共に成しましたね。そして、40歳になった5月16日を過ぎ、6月中旬に広島での西日本区大会にも出席しました。

しかし、しかしです、8月20日には亡くなっているなんて…飛躍しすぎですよ、そこまでしたら、誰もツッコミ出来ませんよ…マナブちゃん。

僕は、例年の初詣、えびす祭に始まり、誕生日や結婚記念日、クリスマスや全ての祝祭日…一年の中には色んなイベントがある、何の時も君の事を思い出してしまいそうです。

喪主・植田勝征よりクラブメンバーへ次のお礼の言葉を預かっています。

「御会葬下さいました皆さま、誠に有難うございました。賑やかな葬儀になり、故人はとても喜んでいてと思います。たくさんのお供花や弔電もいただき有難うございます。式に際し受付などのお手伝いまで頂いたことで、立派な葬儀をおこなうことも出来ました。今年に入ってからは、クラブに入り、とってもしっかり勉強になっている。台湾にも行けた、楽しい。と話しておりました。皆さま、本当に有難う御座いました。」

千賀 修

「そこ突っ込むところやろう!」とボケ・ツッコミにこだわる、見た目は強面だが、実に優しく気の良い、私にとっては面倒見のいい兄貴分であった。この文中では敬意を込めて、敢えて普段通りの呼び方をさせていただきます。

そんな兄貴はパレスに入会してわずか数ヶ月で逝ってしまった。しかし、強烈なインパクトを置き去りにして駆け抜けた兄貴との思い出は尽きない。

私の職場と兄貴の自宅が近所だったので、よく夕食にお誘いした。すぐに「いいよ～」という気持ちのいい返事が返ってきた。兄貴とは食事だけで終わるハズもなく、結局は深夜まで飲み屋に付き合ってもらっていたのだが、兄貴との時間は常に笑っていたような気がする。明日への活力を与えられていたような気がするし、気を遣わさない兄貴の人柄が胸に残る。結局、自分は色々と笑いや楽しみをもらっていたが、自分は何が出来たんだろうか。でも、きっとあの世から「かまへん、かまへん」って言っているはずなので、考えずにおこう。蒲生ワイズや吉岡幸次ワイズ、兄貴とは大親友である大森ワイズ達もたびたび一緒に酒を酌み交わした仲間なので、それぞれに複雑な想いがあるだろう。しかし、そんな心境のまましていると、いずれは「どないやね～ん」とあの世からのツッコミがあるハズなので、出会いの場であるパレスをもっと盛り上げて、男らしく正々堂々と楽しく生きていくことが最大の供養になるのではないかと考える。

通夜、告別式とも兄貴の遺影や亡骸を見て、自分は兄貴との思い出だけに浸りたい心境に陥ったが、多くのパレスの仲間達が駆けつけ涙する姿を見て、改めてパレスの結束力と仲間意識の高さに感服させられた。

兄貴、あの世では好きなバーボン飲みながらボケの練習に没頭して下さい。もう少し先ですが、一緒に飲める日を楽しみにしておきます。

植田学ワイズのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

記念誌編集を終えて

皆様のこの上ないご協力で、予定通りに40+1周年記念誌を発刊することができました。厚く御礼申し上げます。

パレスの記念誌には、これまで何度か西川君とヤングシニアコンビで担当してまいりましたが、二人ともとうとうグランドシニアになり、これが最後のお役目と引き受けましたが10年振りの歳月はいままでの手作りの記念誌編集ではおぼつかなく、パソコンを自由自在に操れる才能が求められる。その点、西川君は我々グランドシニア世代の中では別格に進化されており、ササガ・流石とうならせる心強い大黒柱でありました。

平野君はパソコンを操れば名手・達人の域。博学でも頼もしき限りである。他の委員の皆さん（人見、大森、小櫻、川勝）も総てにおいてレベルが高く熱心で、よく研鑽されており楽しい委員会でありました。

記念誌の理想は、見て楽しめる、読んで学べる、発刊日の厳守と、編集委員会をスタートいたしました。ところがスタート期の31期の会長、広報委員長がすでに退会しており、資料、特に写真が全くないという状況でありましたが、手分けして根気よく探し求めて、なんとかページを作ることができました。今後の課題は、以前に一度もたれたパレス文献保存委員会を再開することで記念誌発行は楽になるかと思いますが。

また、今回の記念誌の特色は、今までにないオールカラーの誌面であることです。これは40+1周年記念実行委員長の為国君が経営する為国印刷さんが40+1周年を記念してモノクロ予算のなかでオールカラーの記念誌を大奉仕していただきました。おかげでパレスクラブ後生に残る豪華な素晴らしい記念誌が発刊できました。為国君には頭が下がる思いで深く感謝申し上げます。

最後に、この記念誌が明日のパレスのさらなる発展と親睦研鑽に寄与し、また、ワイズの皆さんに喜んで読んでいただけることを願いつつ、ワイズ、YMCAから寄せられたご協力に重ね重ね感謝御礼申し上げます。

記念誌委員長 杉本 泰造



40+1周年記念実行委員長	為国 光俊
記念誌委員長	杉本 泰造
副委員長	西川 寿一
委員	平野 雅幸
委員	人見 晃弘
委員	大森 夏彦
委員	小櫻 武彦
委員	川勝 政男

京都パレスワイズメンズクラブ 40+1周年記念誌

発行日 2012年8月31日

発行 京都パレスワイズメンズクラブ

印刷 為国印刷株式会社